

秀明大学将棋部 創部 10 周年記念感謝祭企画

詰将棋コーナー ～将棋部からの挑戦状～

ある日、我々将棋部からの挑戦状を手にしたあなた。我々将棋部が厳選した問題を出題します！あなたは何問解くことができるでしょうか！？果たしてあなたの実力はいかに！？

我々からの挑戦を受けてみよ！

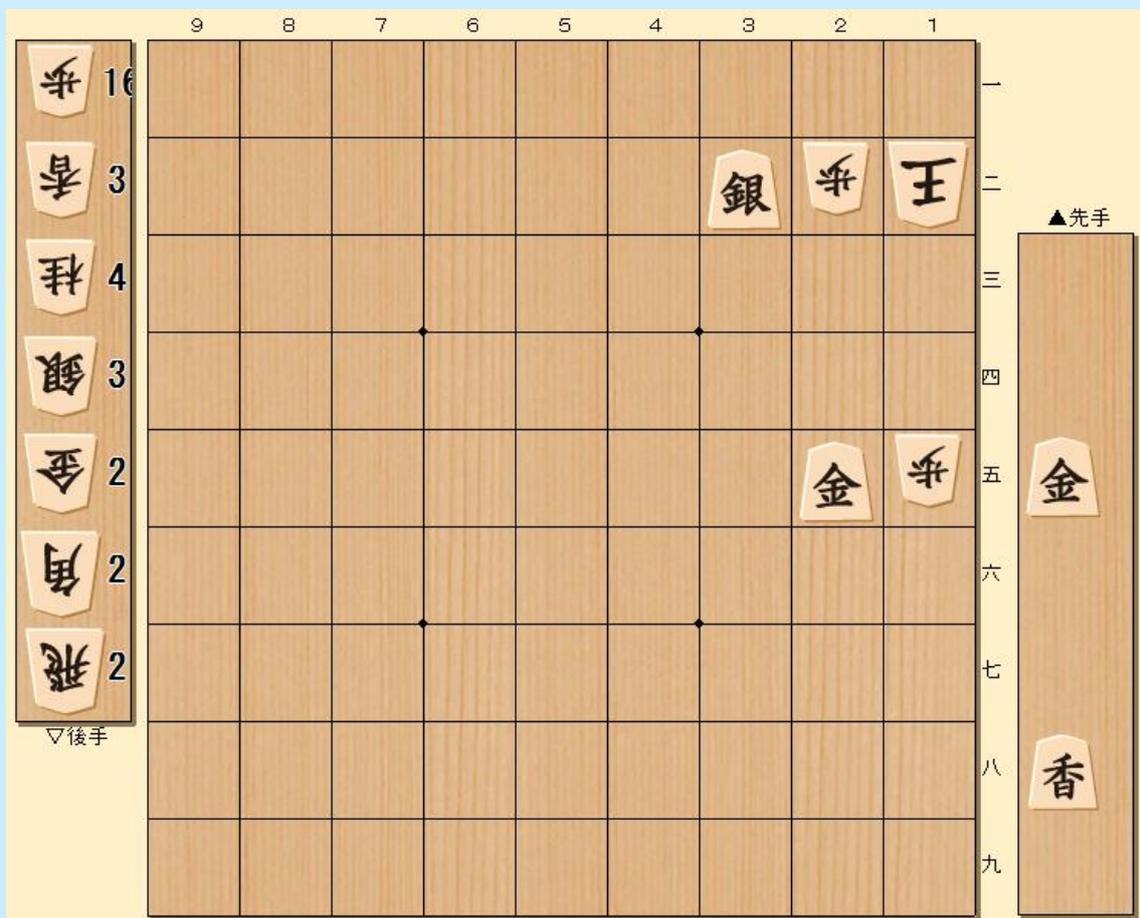
目次

- 3手詰編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～
- 5手詰編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19～
- 7手詰編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P36～
- 9手詰編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P53～
- スペシャル編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P70～

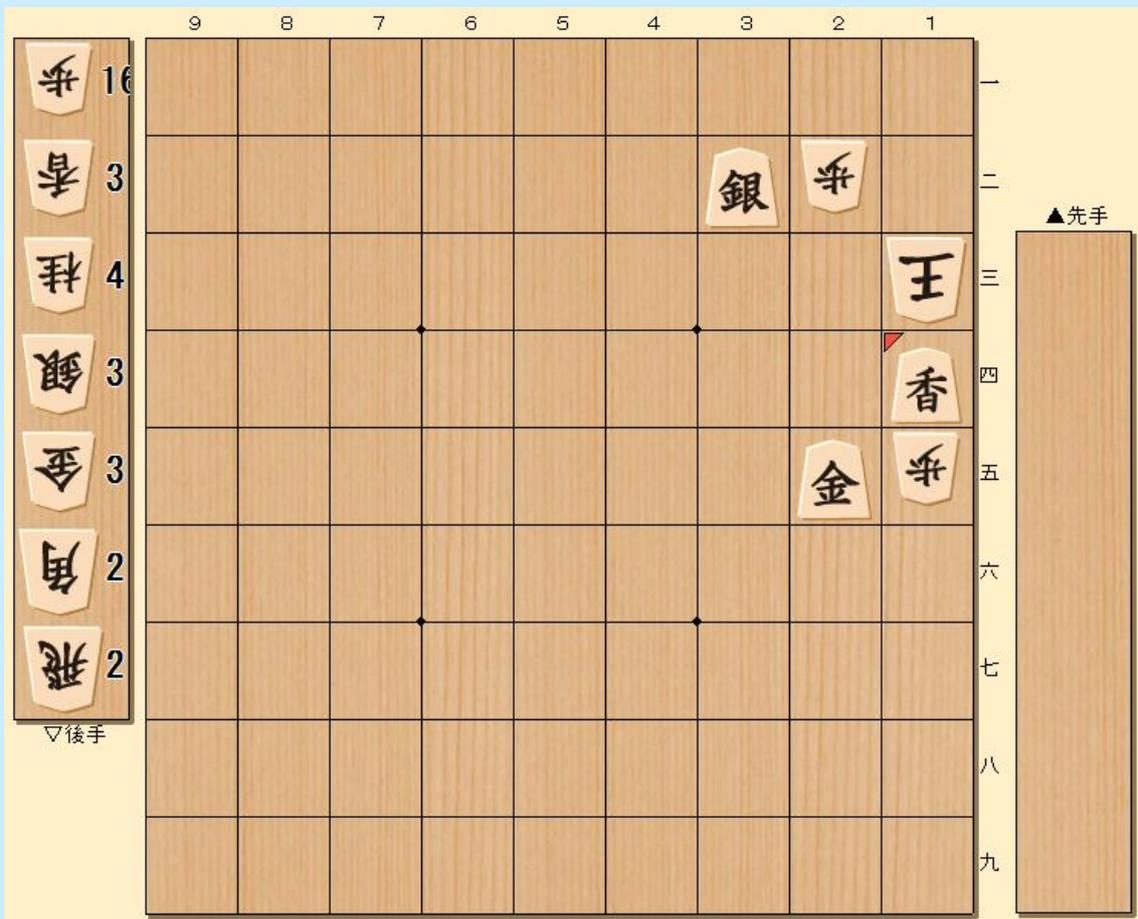
最後までお楽しみください！！！！！！

◆ 3 手詰編 ◆

第1問



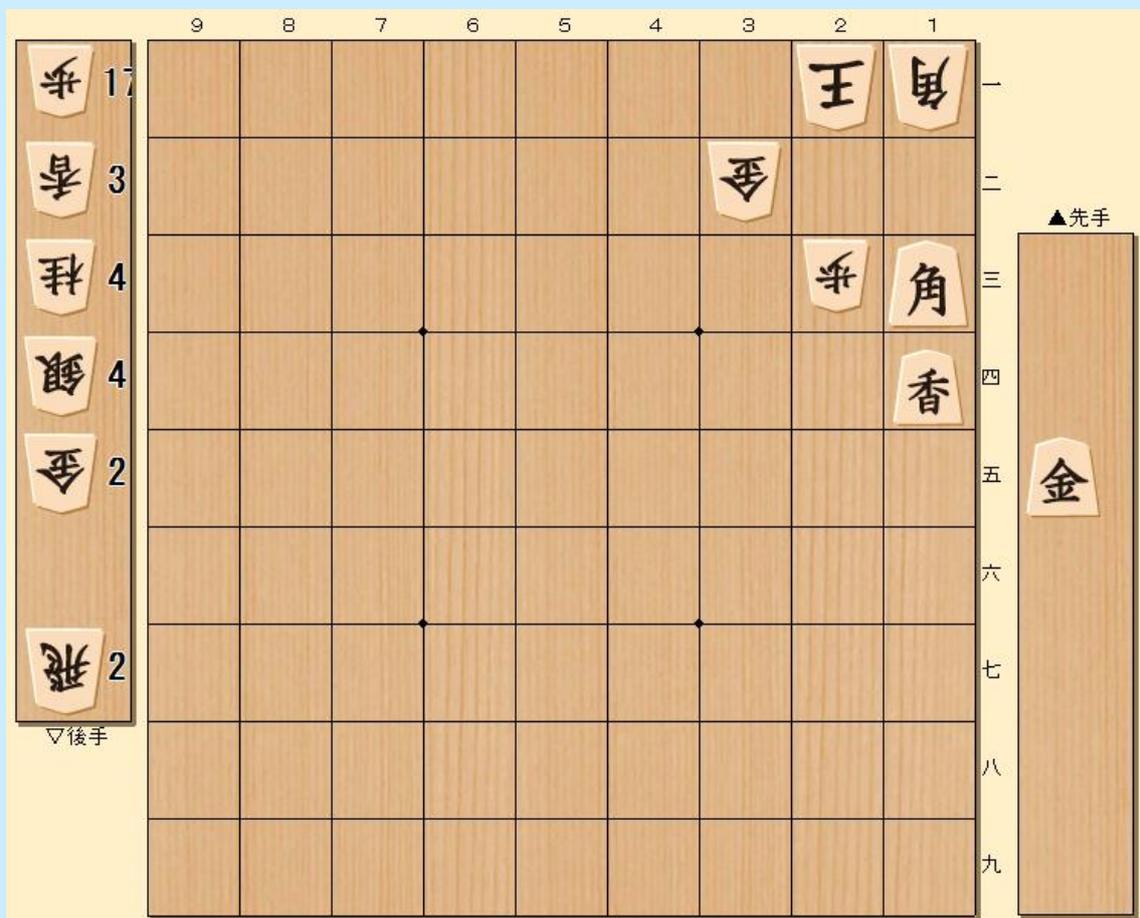
第1問の解説



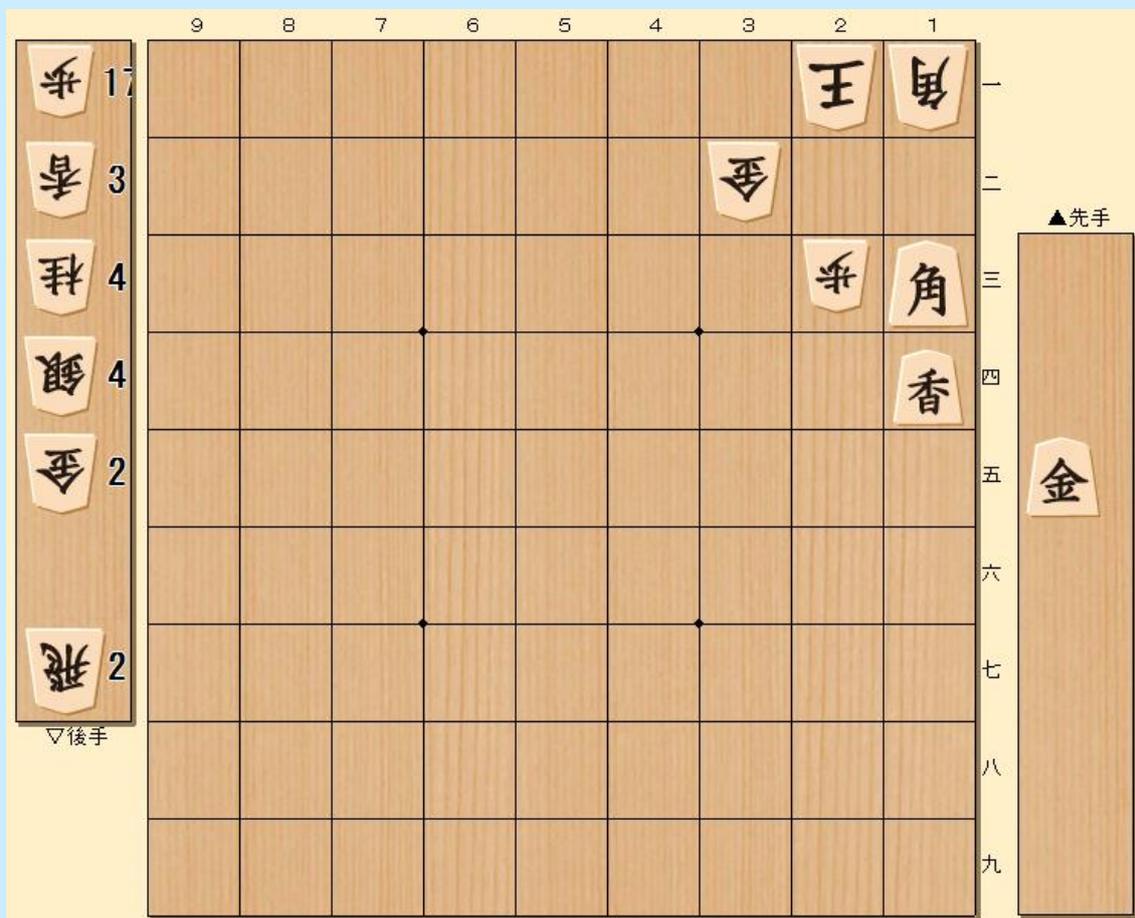
▲1四香の王手が目につきますが、△1三桂馬合が好手で、▲同香成→△同玉となると、金と桂馬では詰みません。先に▲1三金と捨てるのが好手。以下、△同玉→▲1四香と打てば香車の特性で詰みます。2手目、△1一玉と応じる手は、▲1二香で詰みますが、捨てる駒は取るのが詰将棋のエチケットです。

解答 ▲1三金打→△同玉 →▲1四香打 までの3手詰
▲1三金打→△1一玉→▲1二香打 までの3手詰

第2問



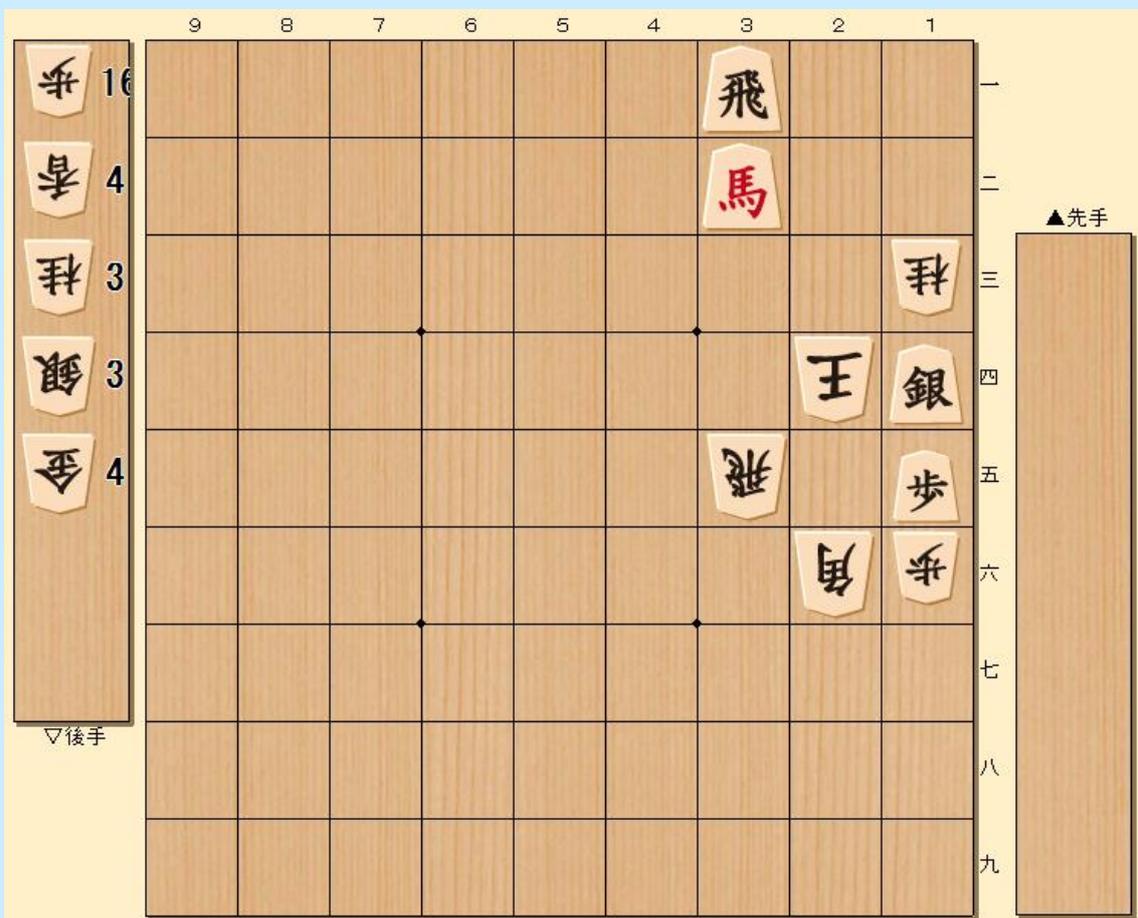
第2問の解説



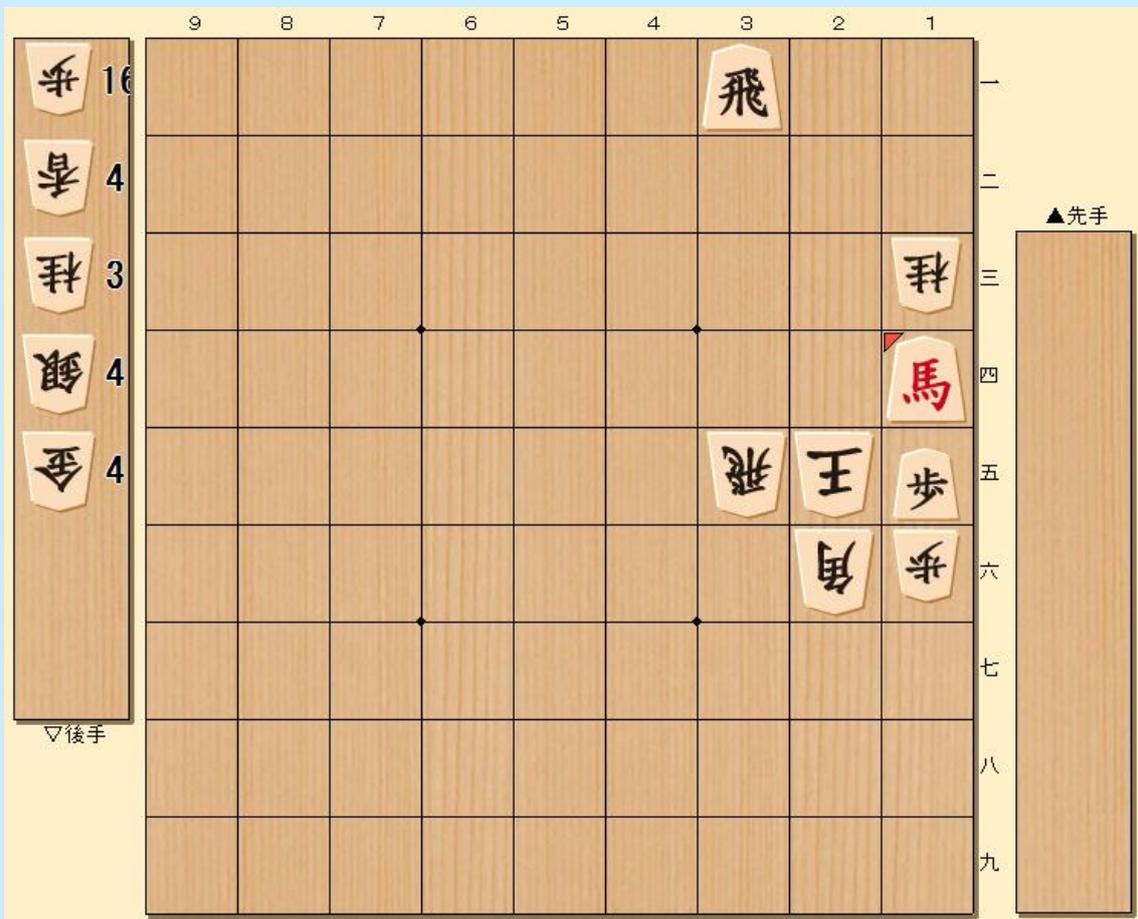
初手▲1二金と捨てて玉を香車の筋に呼び込むのが好手。以下、△同玉→▲3一角成の開き王手で綺麗に詰みます。玉を狭いところに誘い込む手筋がポイントです。

解答 ▲1二金打→△同玉→▲3一角成 までの3手詰

第3問



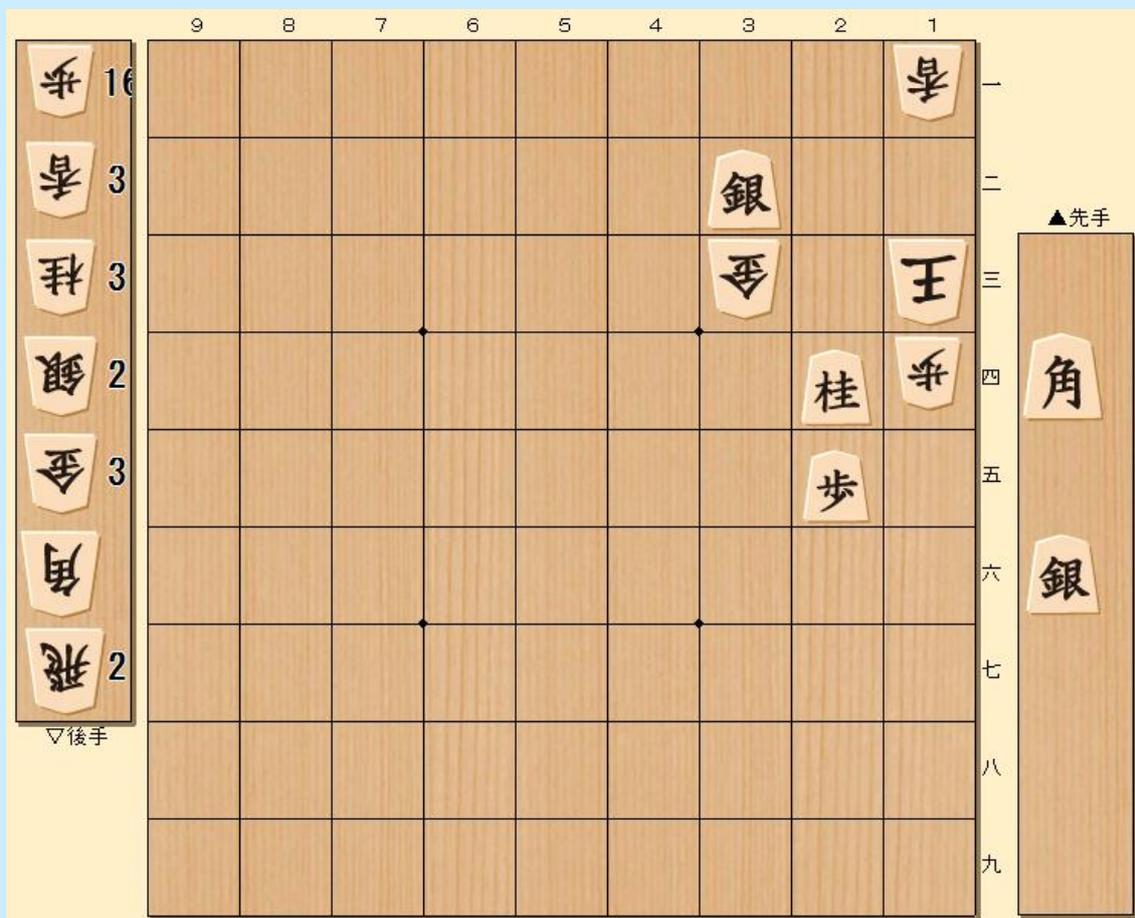
第3問の解説



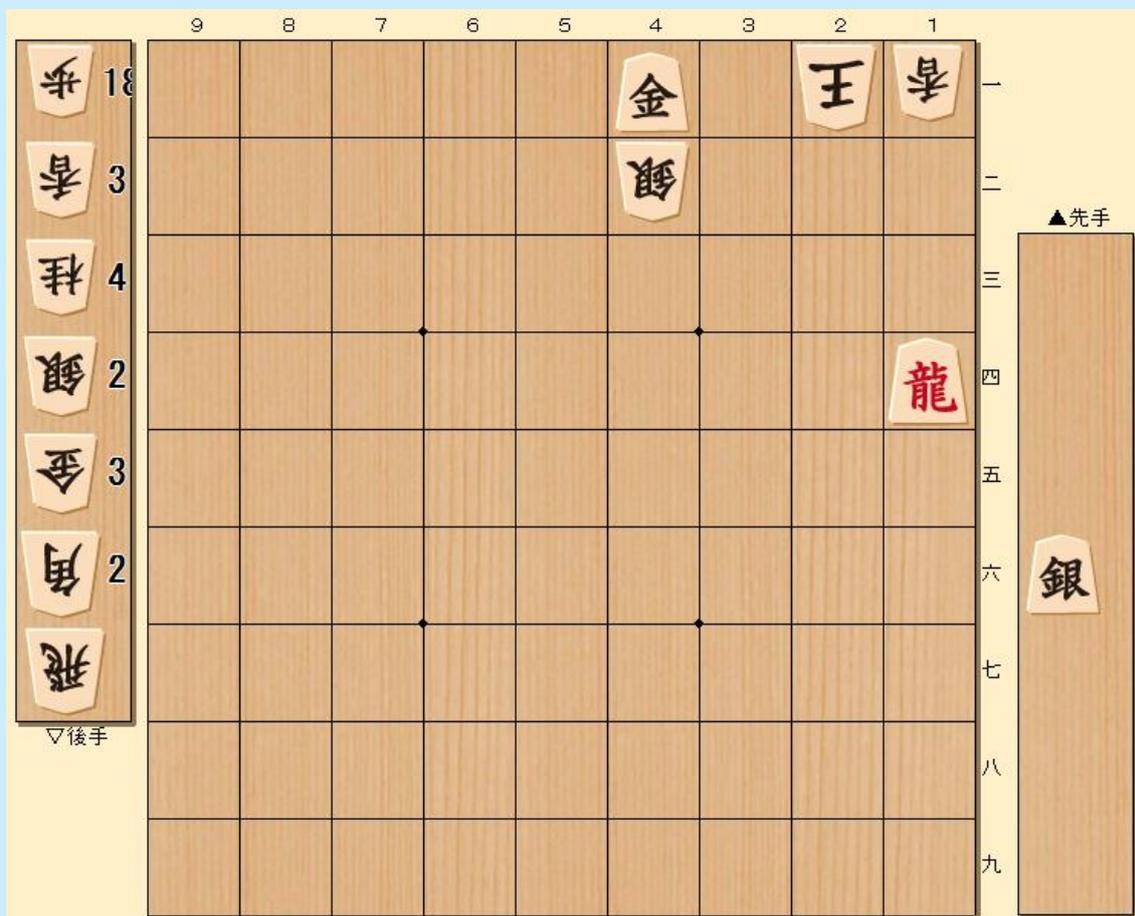
初手▲2三馬は、△1五玉→▲3五飛成→△同角で詰みません。また、▲1三銀不成は、△同玉なら▲1一飛成で詰みますが、△3四玉で逃げられてしまいます。正解の▲2五銀と引く手が馬の活用を図る好手で、どう応じても▲1四馬で詰んでしまいます。

- 解答 ▲2五銀→△同玉 →▲1四馬 までの3手詰
 ▲2五銀→△同飛 →▲1四馬 までの3手詰
 ▲2五銀→△同桂 →▲1四馬 までの3手詰
 ▲2五銀→△1五玉→▲1四馬 までの3手詰

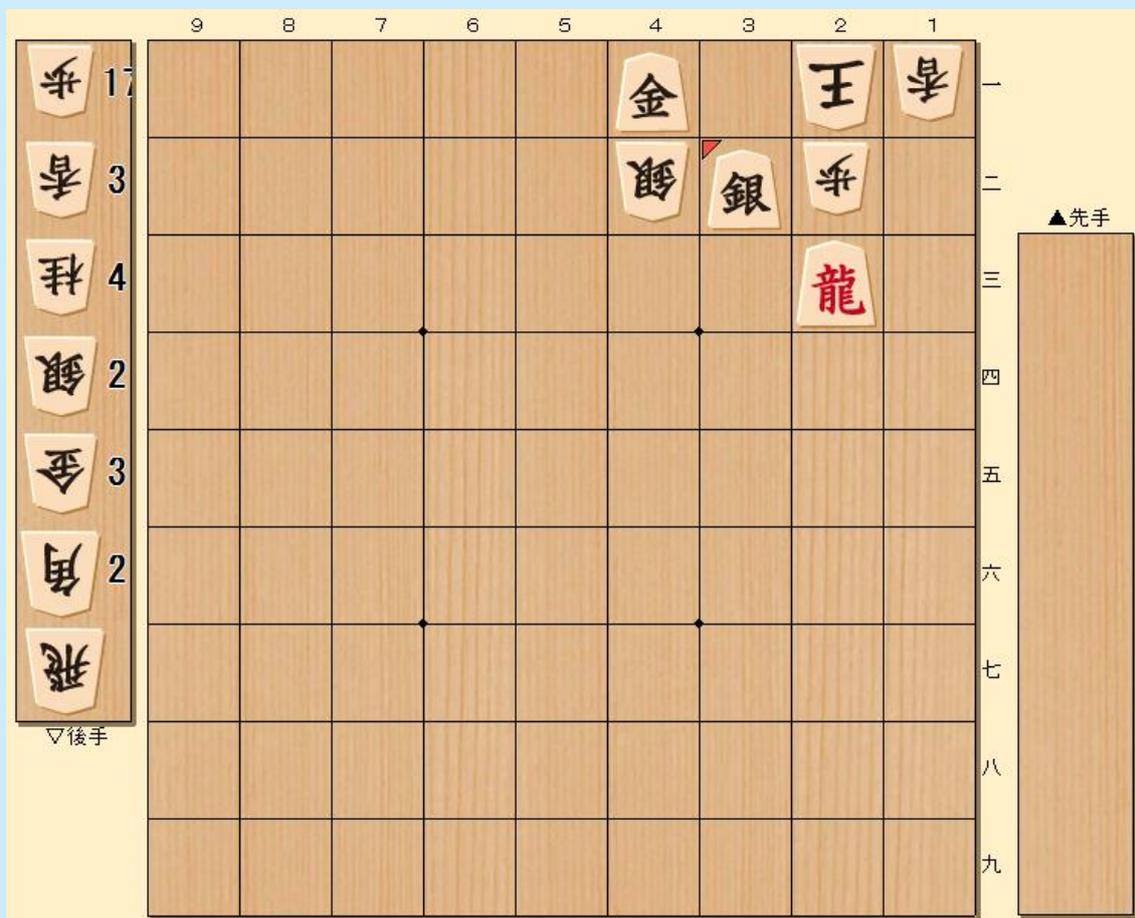
第4問



第5問



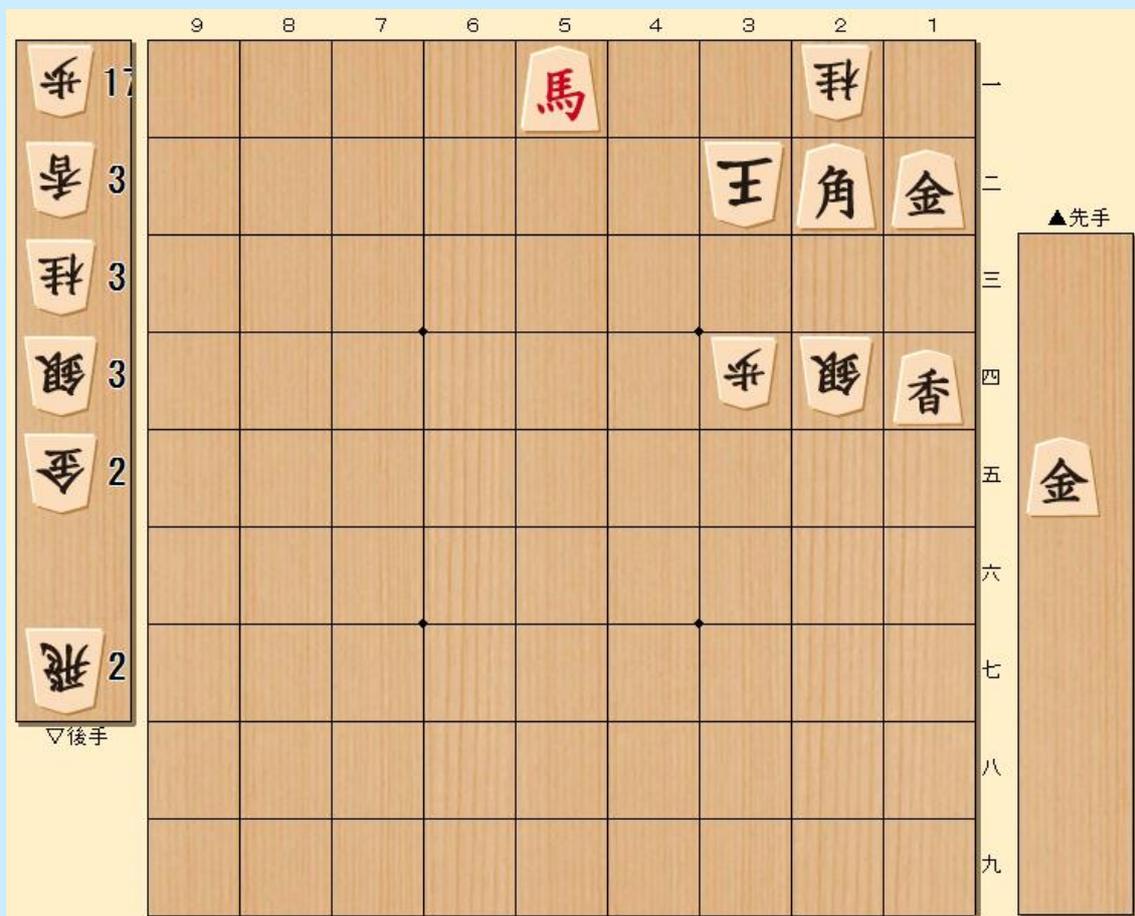
第5問の解説



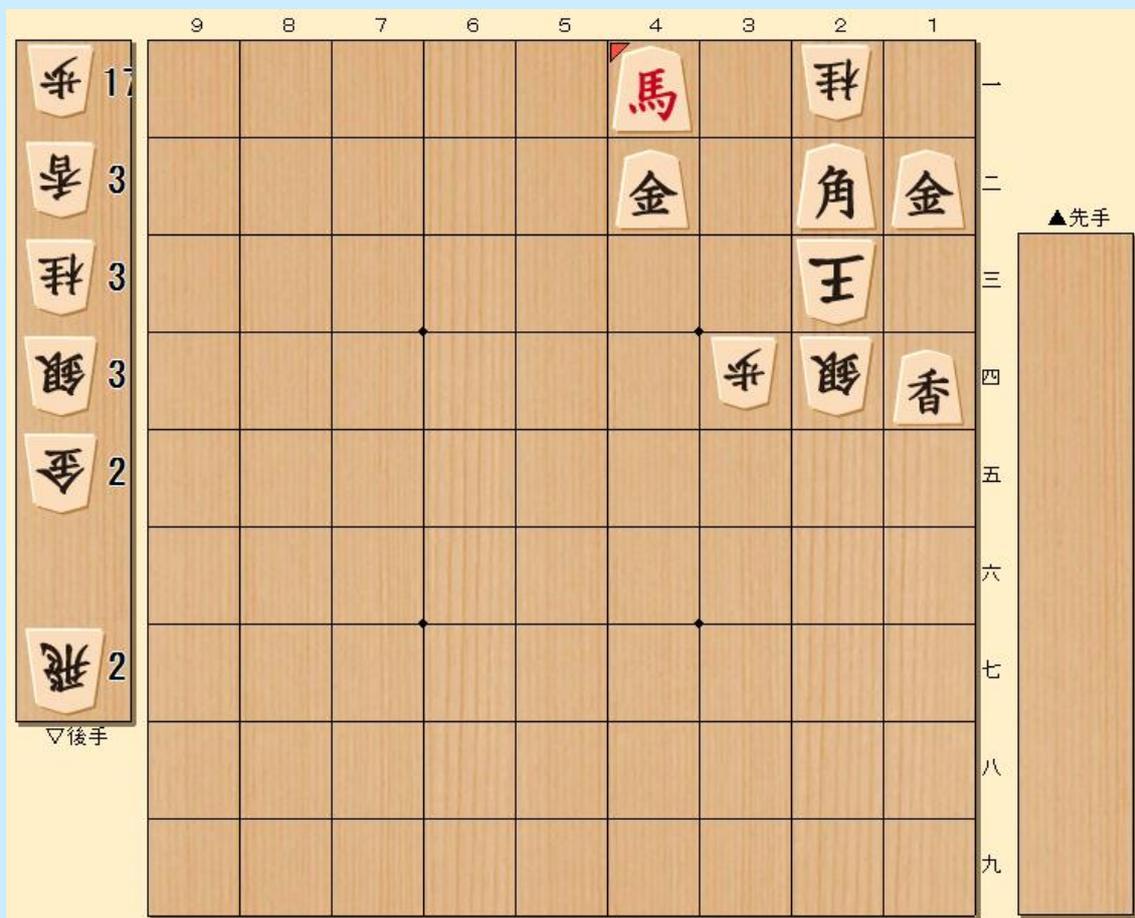
初手▲2三龍が急所の一手で、何を合駒しても▲3二銀までとなります。玉を詰める手順として、縦・横の間龍はよく実戦でもあらわれる形です（本問は縦の間龍）。

解答 ▲2三龍→△2二合駒→▲3二銀 までの3手詰

第6問



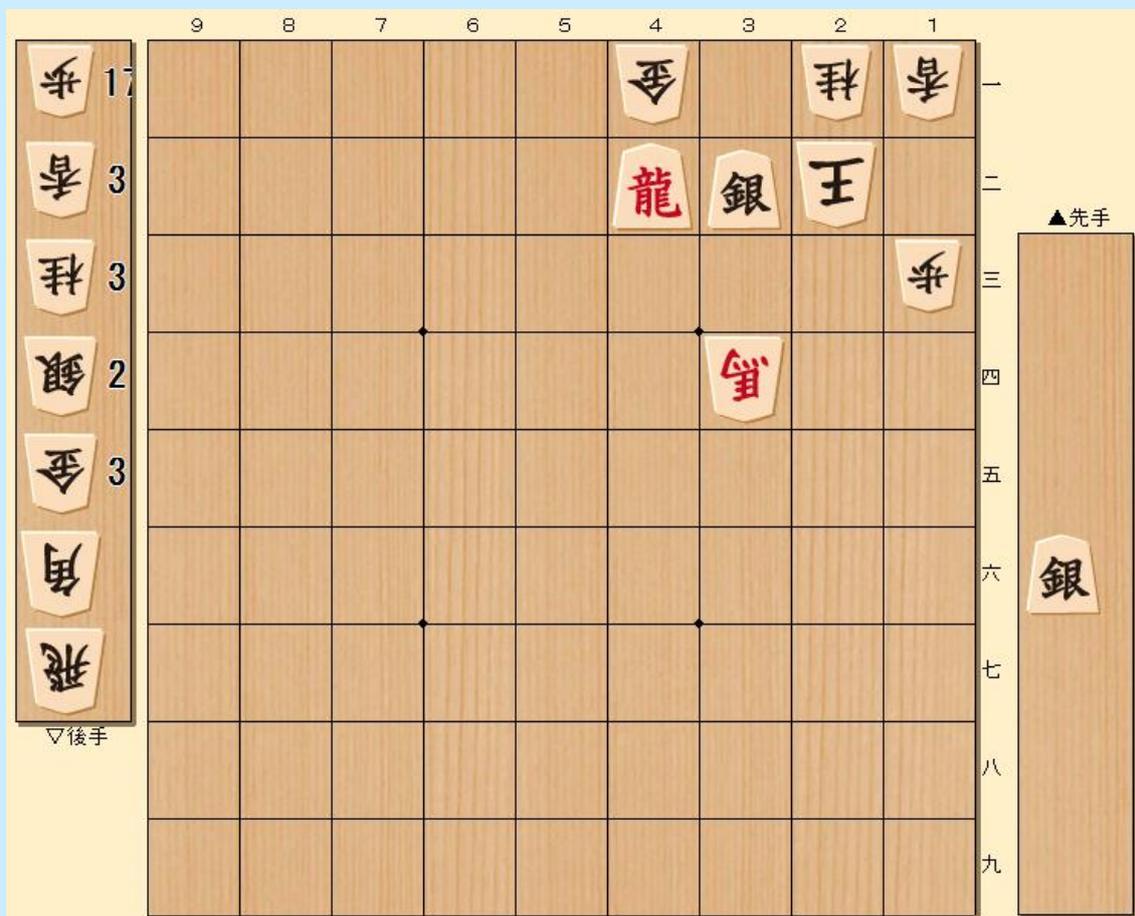
第6問の解説



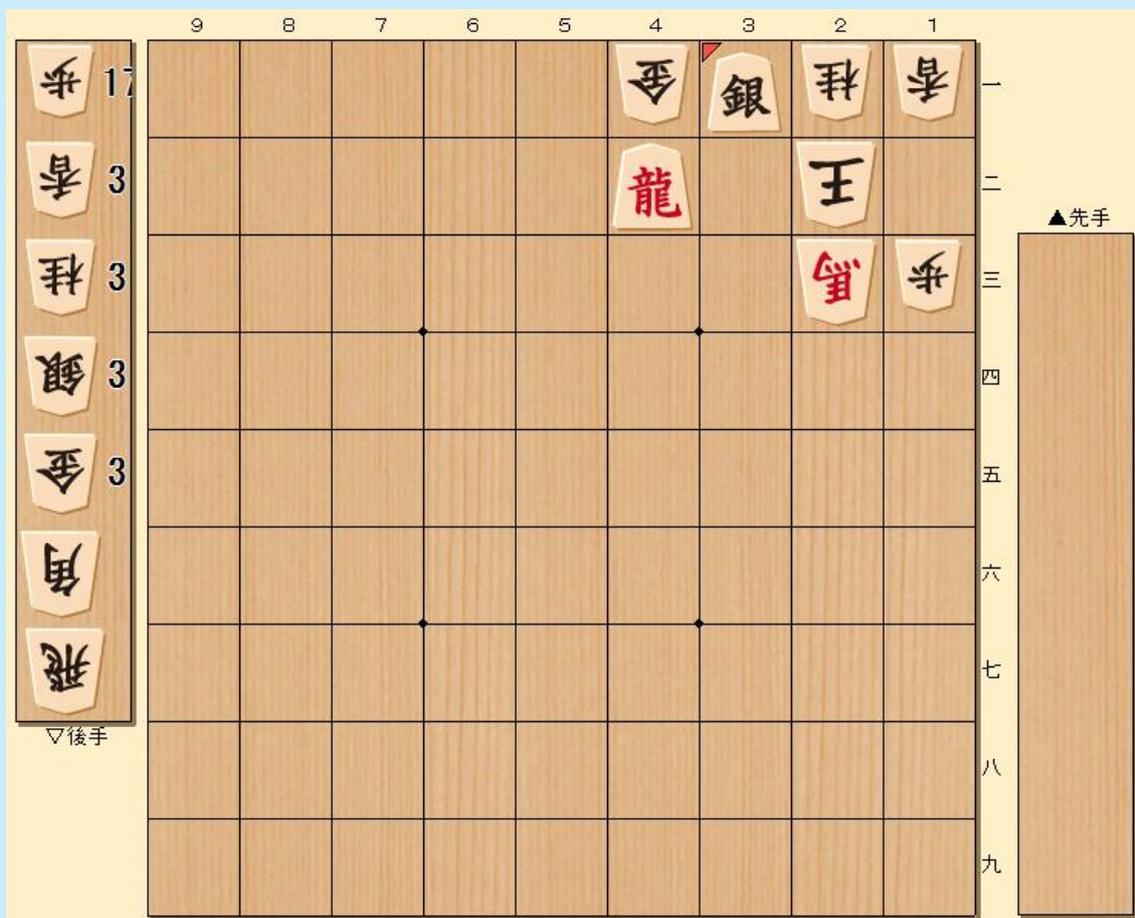
初手▲3一角成は、△同玉なら▲2二金打までですが、△4三玉で詰みません。▲4二金が俗手の好手。△2三玉の一手ですが、▲4一馬と寄れば馬の利きが強力で捕まっています。

解答 ▲4二金打→△2三馬→▲4一馬 までの3手詰

第7問



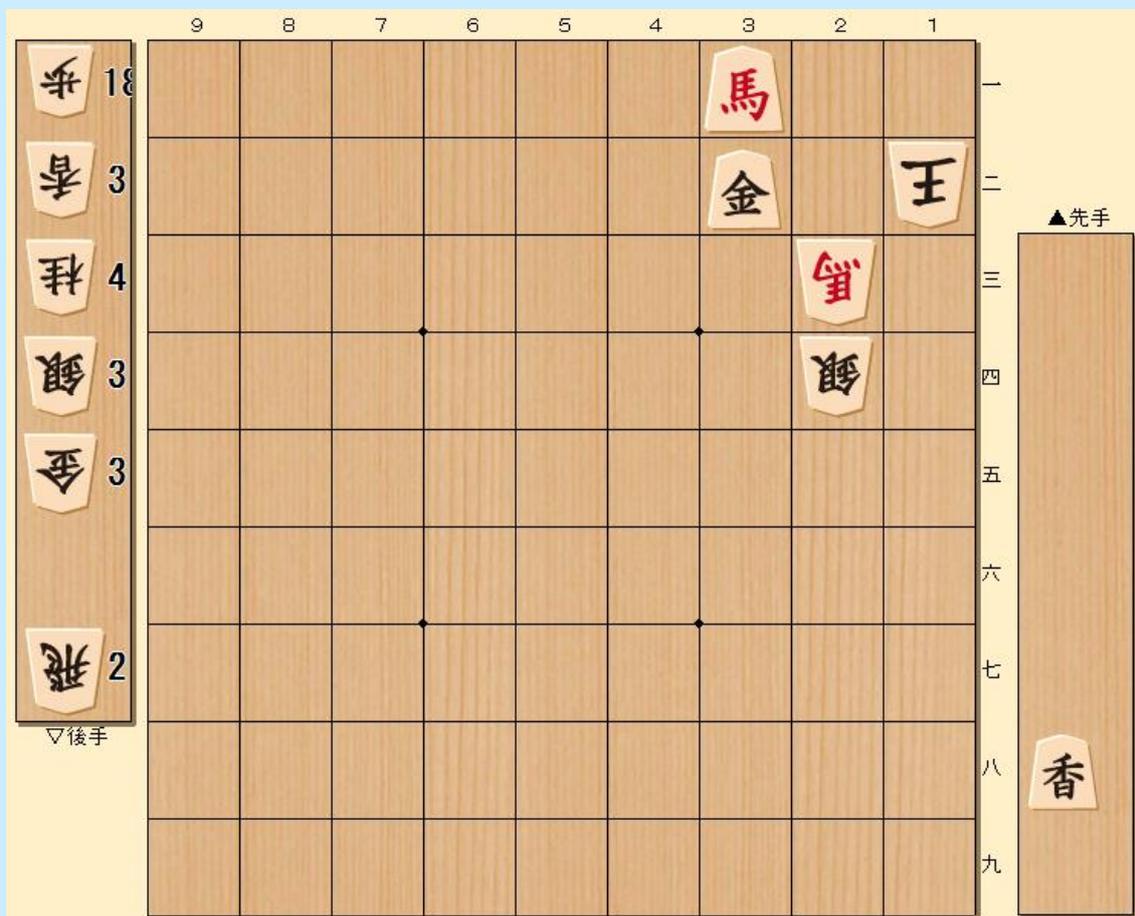
第7問の解説



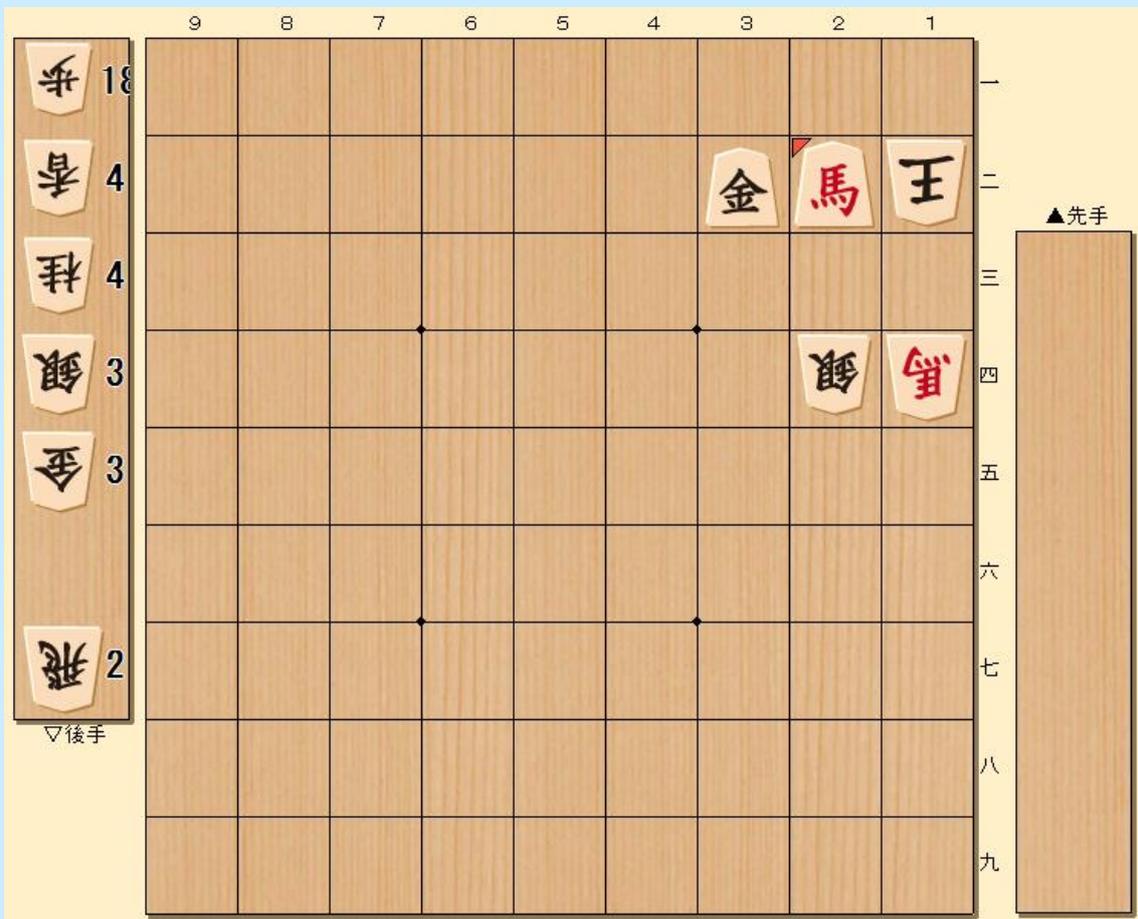
初手▲3一銀不成や、▲4一銀不成に誘われますが、いずれも△2三玉と上に逃げられてしまいます。初手2三銀打が将来の逃げ道を塞ぎます。△2三同馬と取るしかありませんが、それから▲3一銀不成と両王手をかけて詰み上がりです。

解答 ▲2三銀打→△同馬→▲3一銀不成 までの3手詰

第8問



第8問の解説

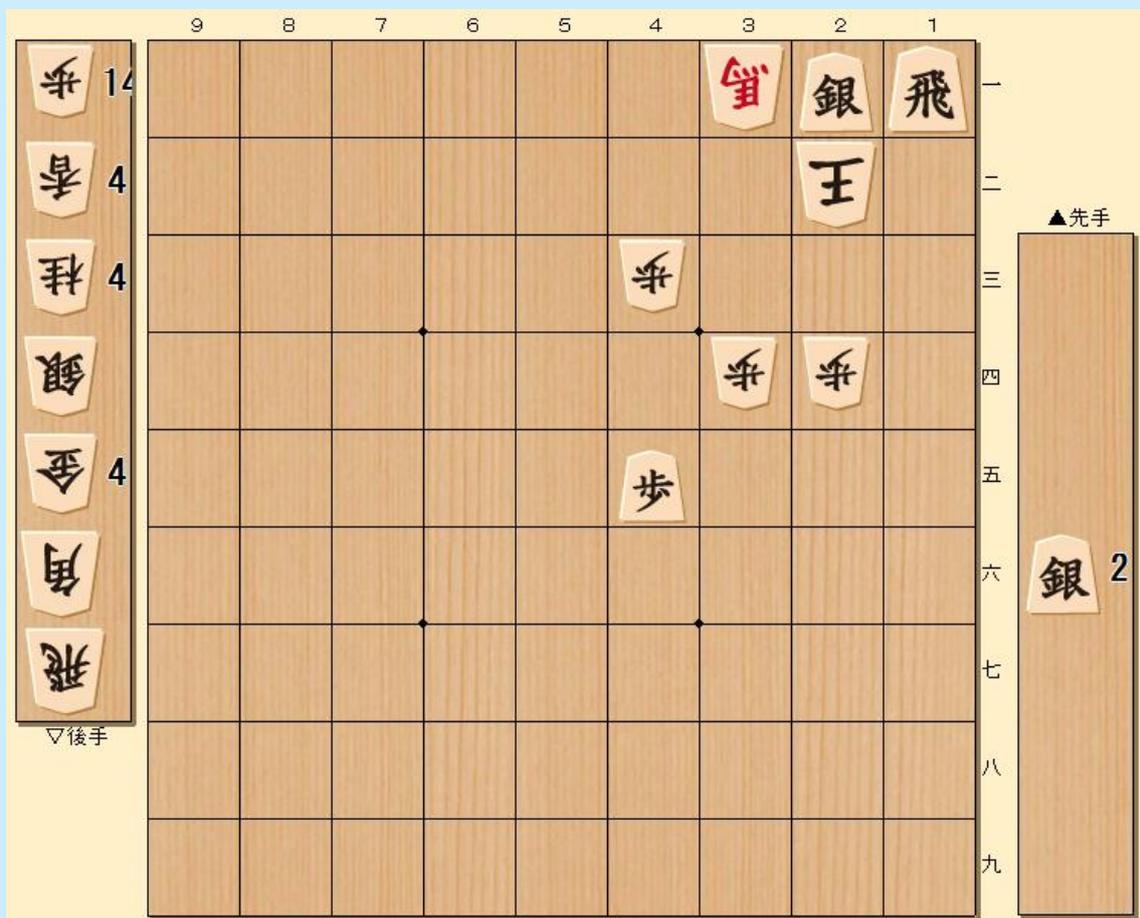


初手▲2一馬とするのは、△1三玉と上部に逃げられてしまいます。▲1四香打と先に上部から王手をするのが正解。以下、△同馬に、▲2二馬で詰み上がります。また、2手目△1三合駒ならば、▲2一馬までですが捨てる駒は取るのが詰将棋のエチケットです。

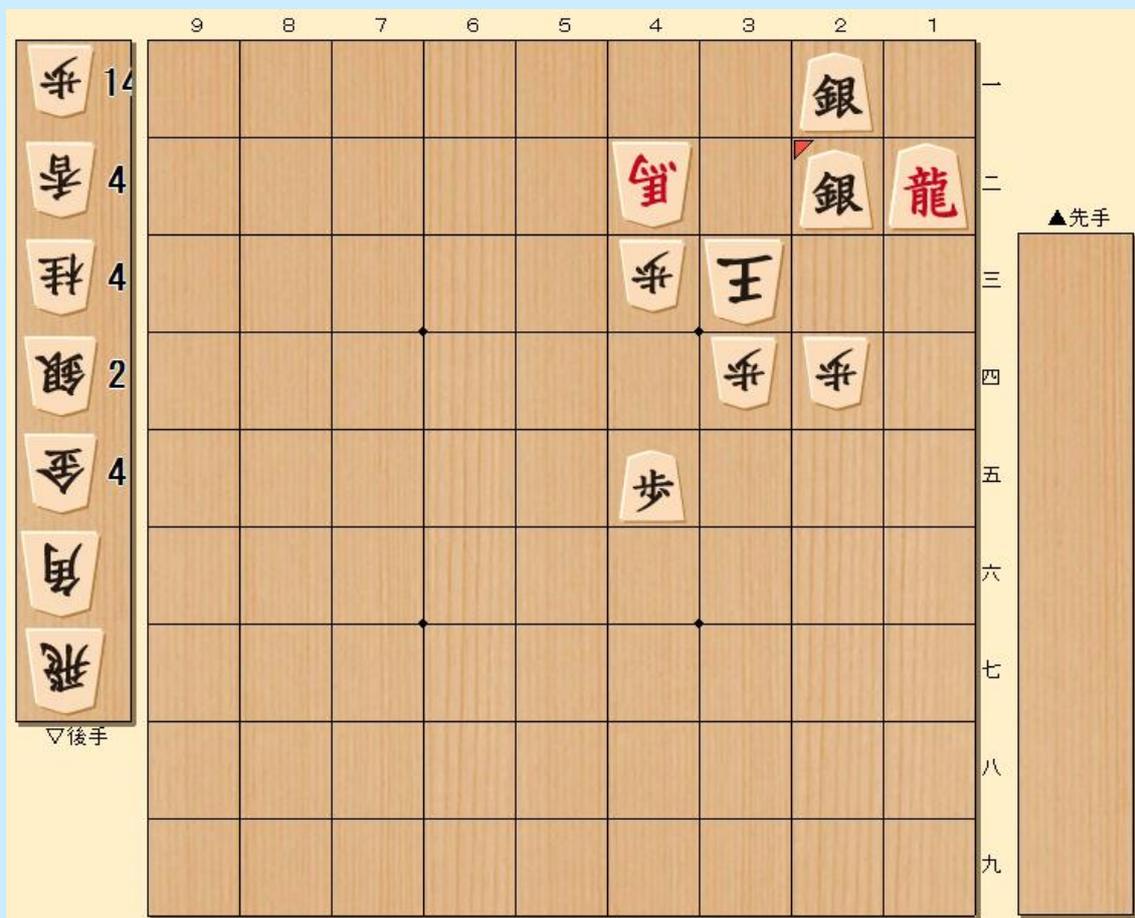
解答 ▲1四香打→△同馬 →▲2二馬 までの3手詰
 ▲1四香打→△1三合→▲2一馬 までの3手詰

◆ 5 手詰編 ◆

第1問



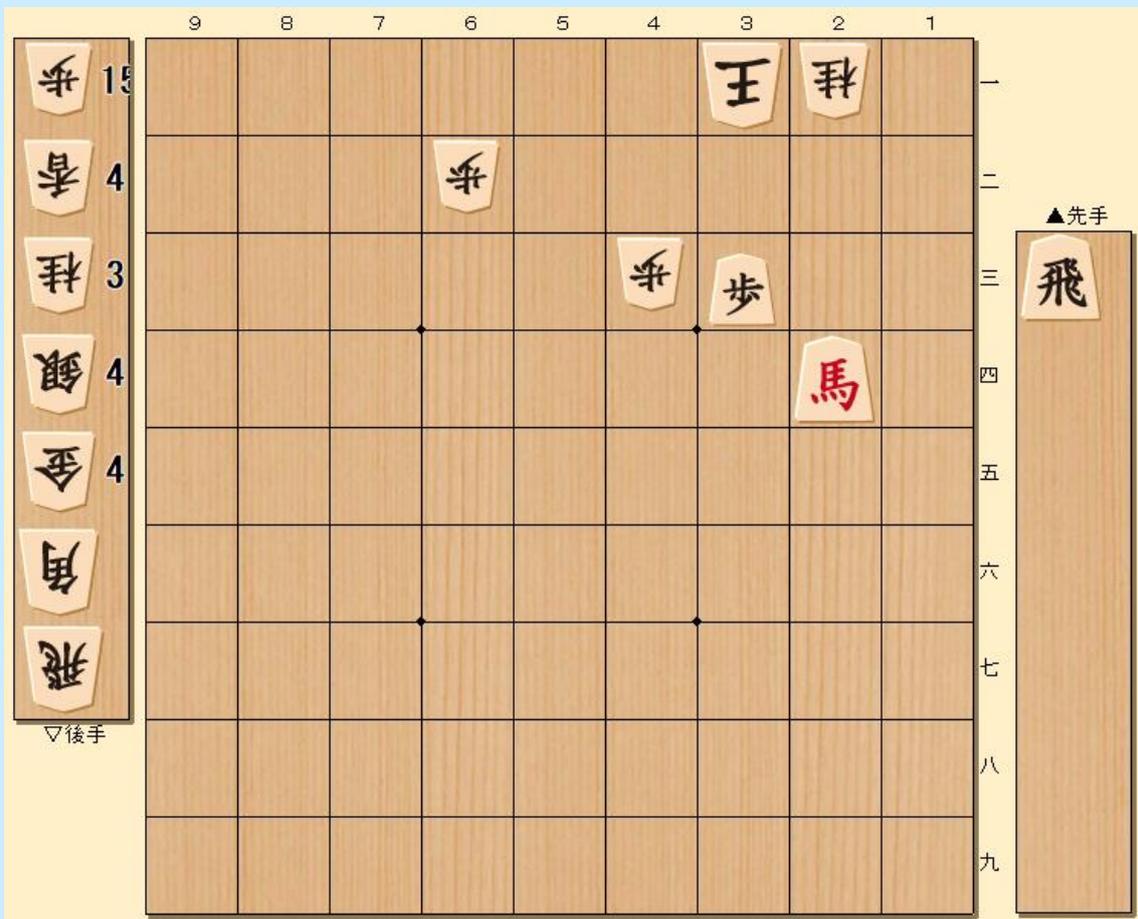
第1問の解説



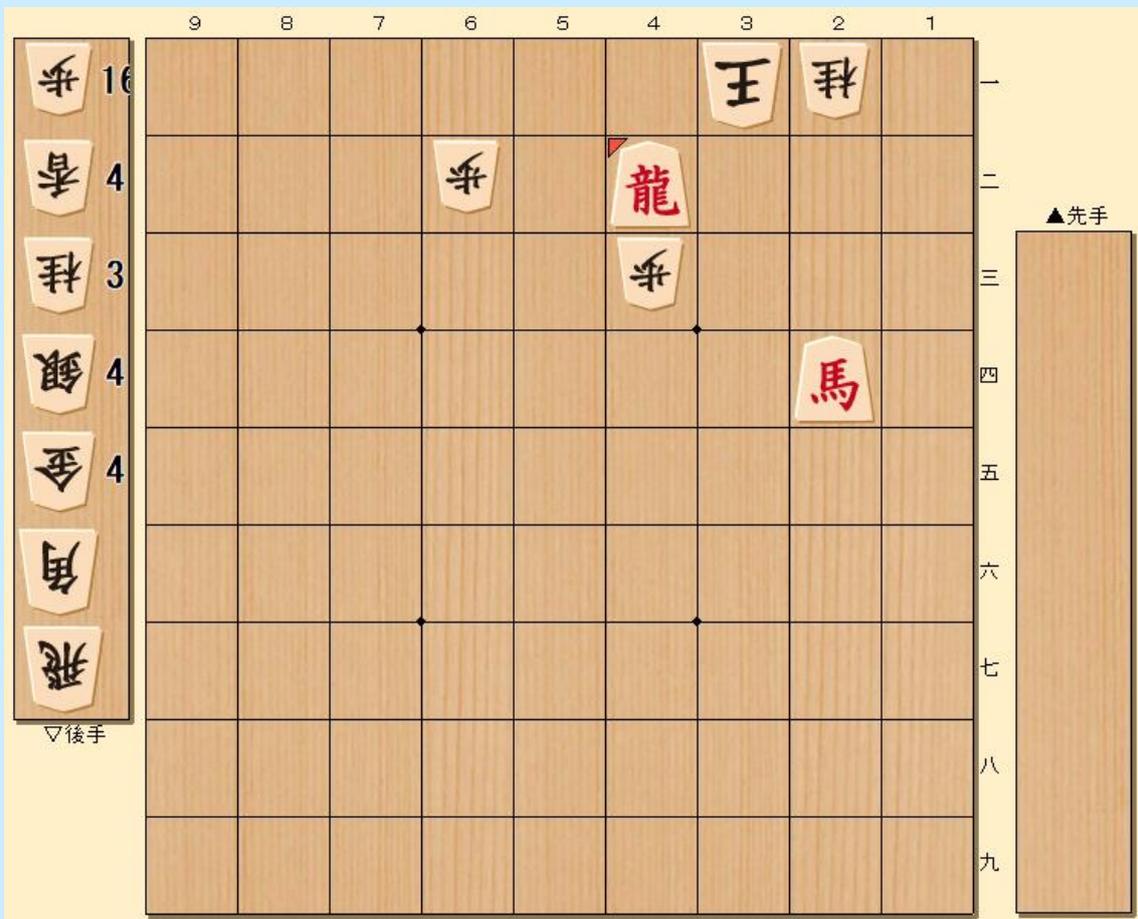
初手▲1二飛成は必然です。△3三玉に▲4二銀打と捨てて逃げ道を断ちます。△同馬の一手に、▲2二銀打で詰み上がりです。

解答 ▲1二飛成→△3三玉→▲4二銀打→△同馬→▲2二銀打 までの5手詰

第2問



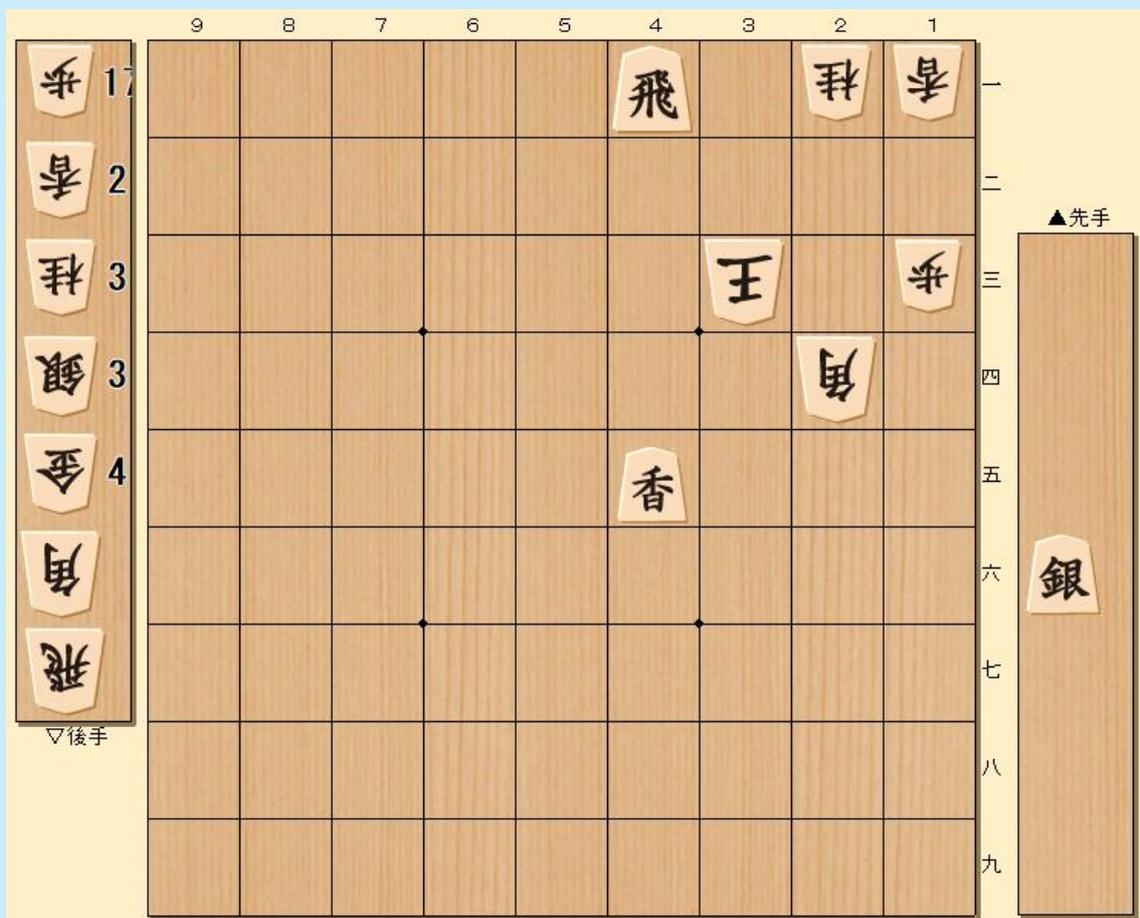
第2問の解説



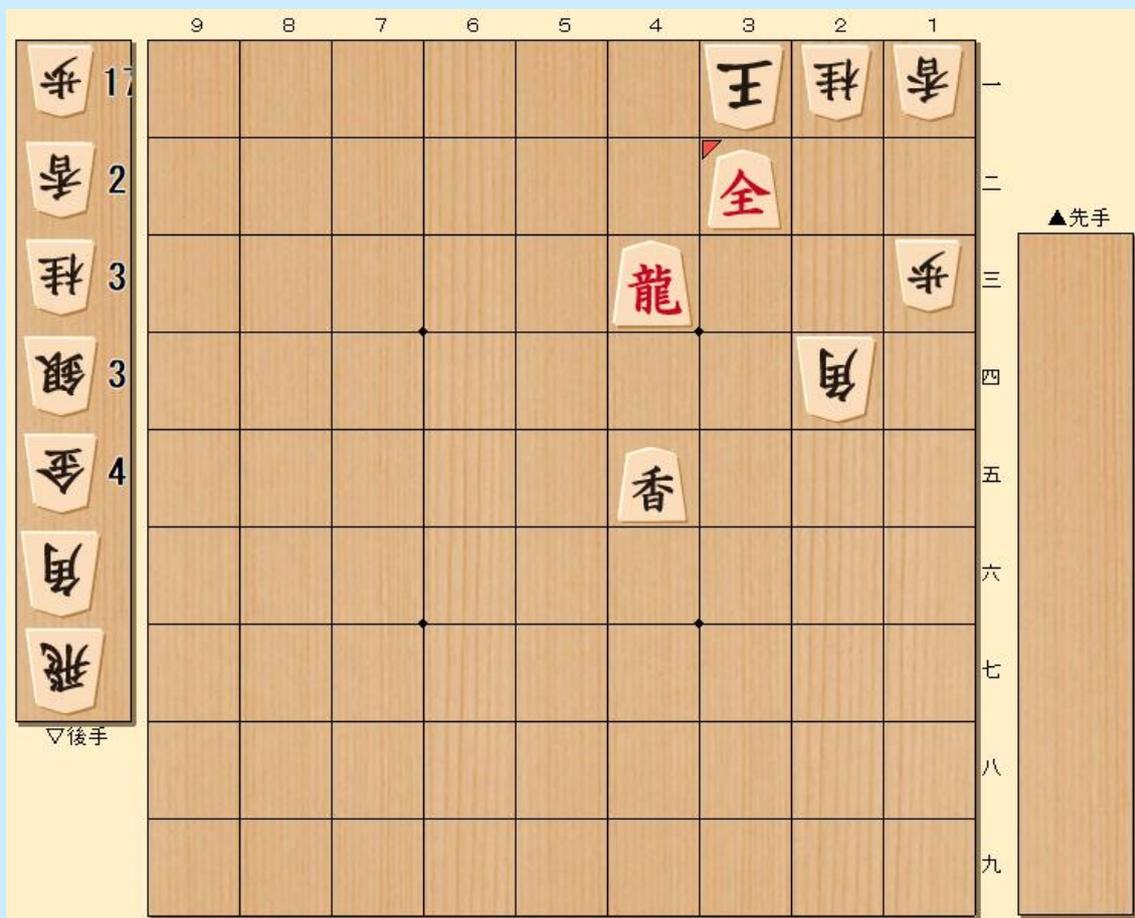
初手▲3二歩成と歩を成り捨てて、玉を引きずり出します。△3二同玉に、▲5二飛と横から飛車を打って王手します。△3一玉なら▲4二飛成でぴったり詰みです。

- 解答 ▲3二歩成→△同玉→▲5二飛→△3一玉→▲4二飛成 までの5手詰
 ▲3二歩成→△同玉→▲5二飛→△4一玉→▲4二飛成 までの5手詰
 ▲3二歩成→△同玉→▲5二飛→△4一玉→▲4二馬 までの5手詰

第3問



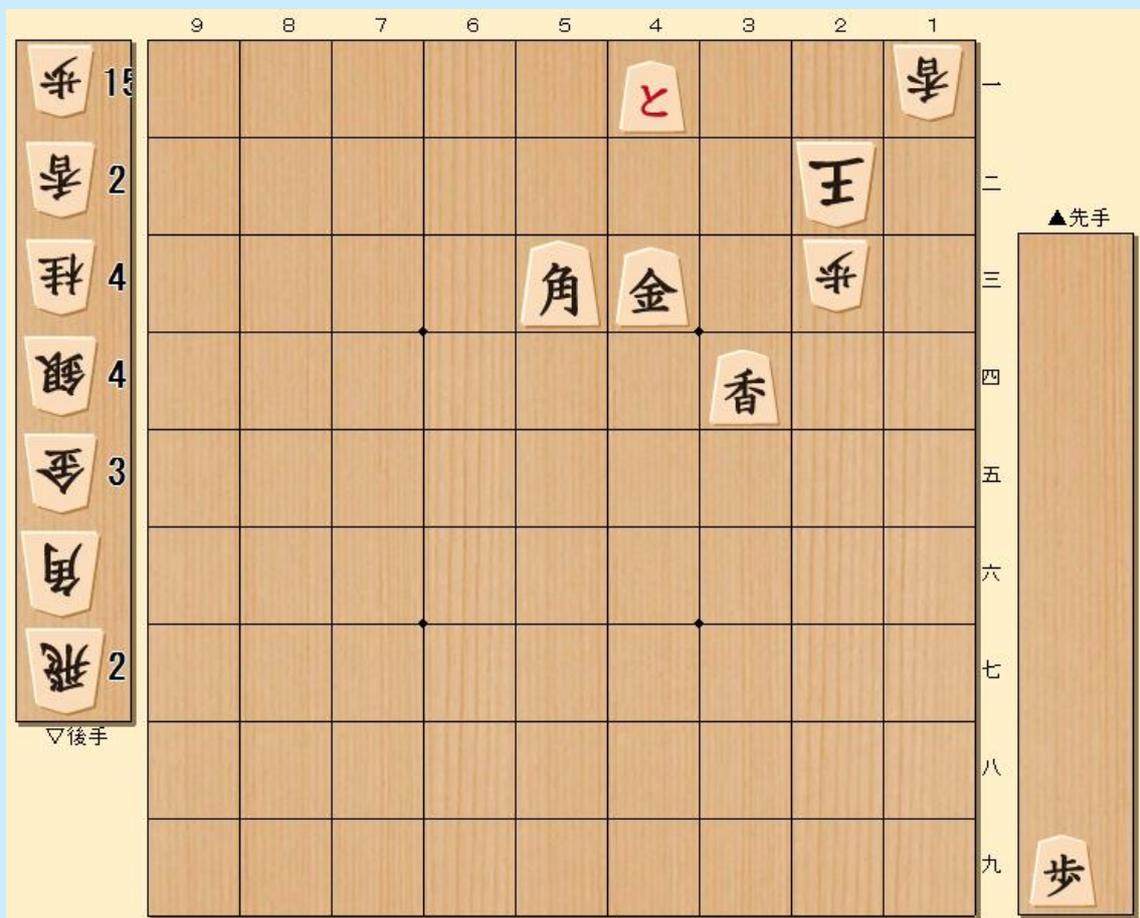
第3問の解説



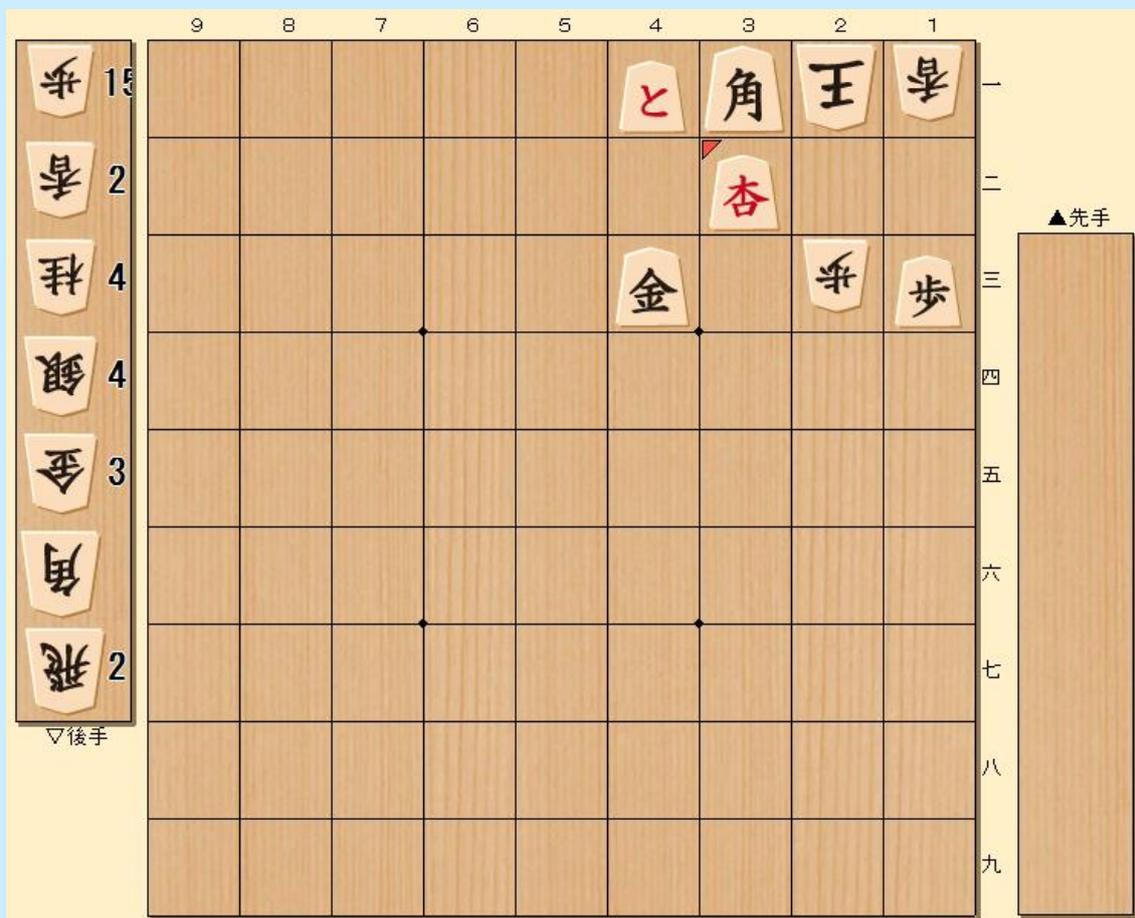
玉を3四から逃がしてはいけません。初手▲4三飛成は必然の手です。その後は解答の流れになります。

解答 ▲4三飛成→△2二玉→▲2三銀打→△3一玉→▲3二銀成 までの5手詰
 ▲4三飛成→△2二玉→▲2三銀打→△3一玉→▲3二龍 までの5手詰

第4問



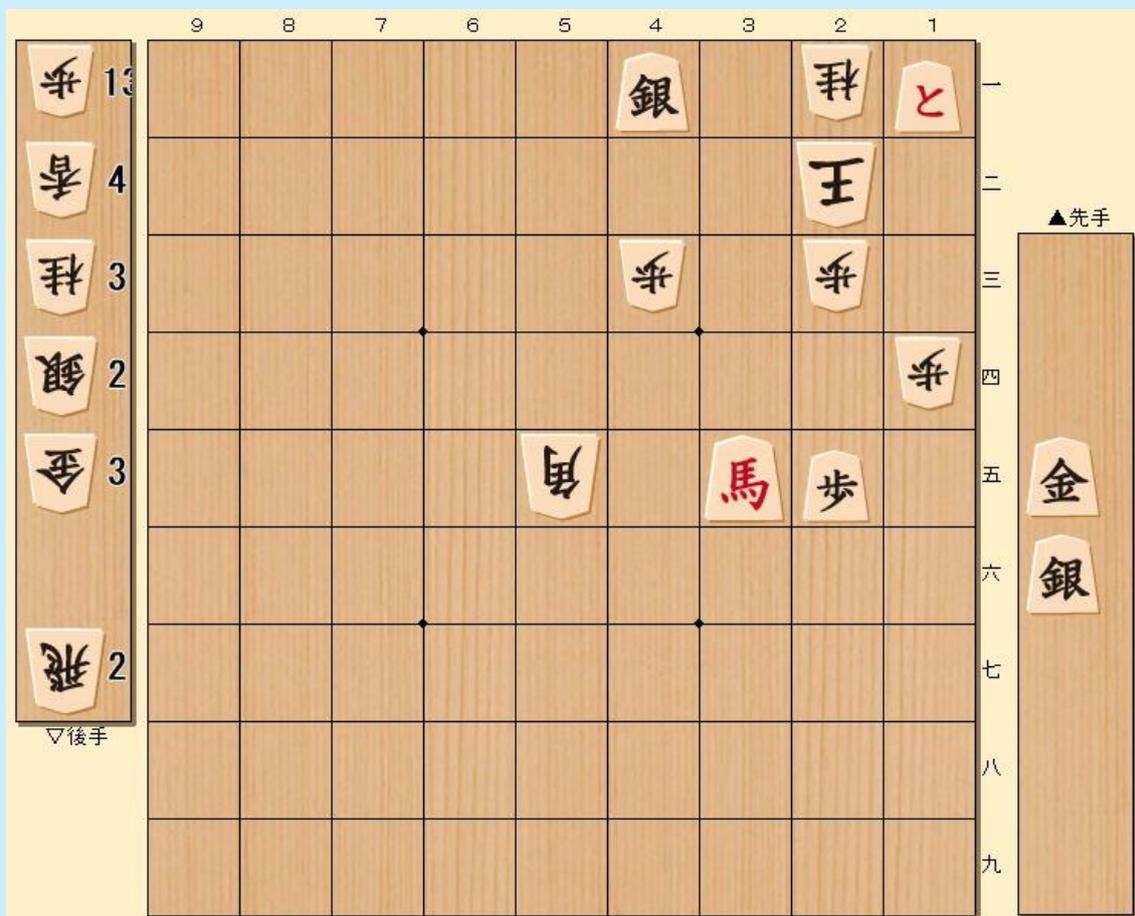
第4問の解説



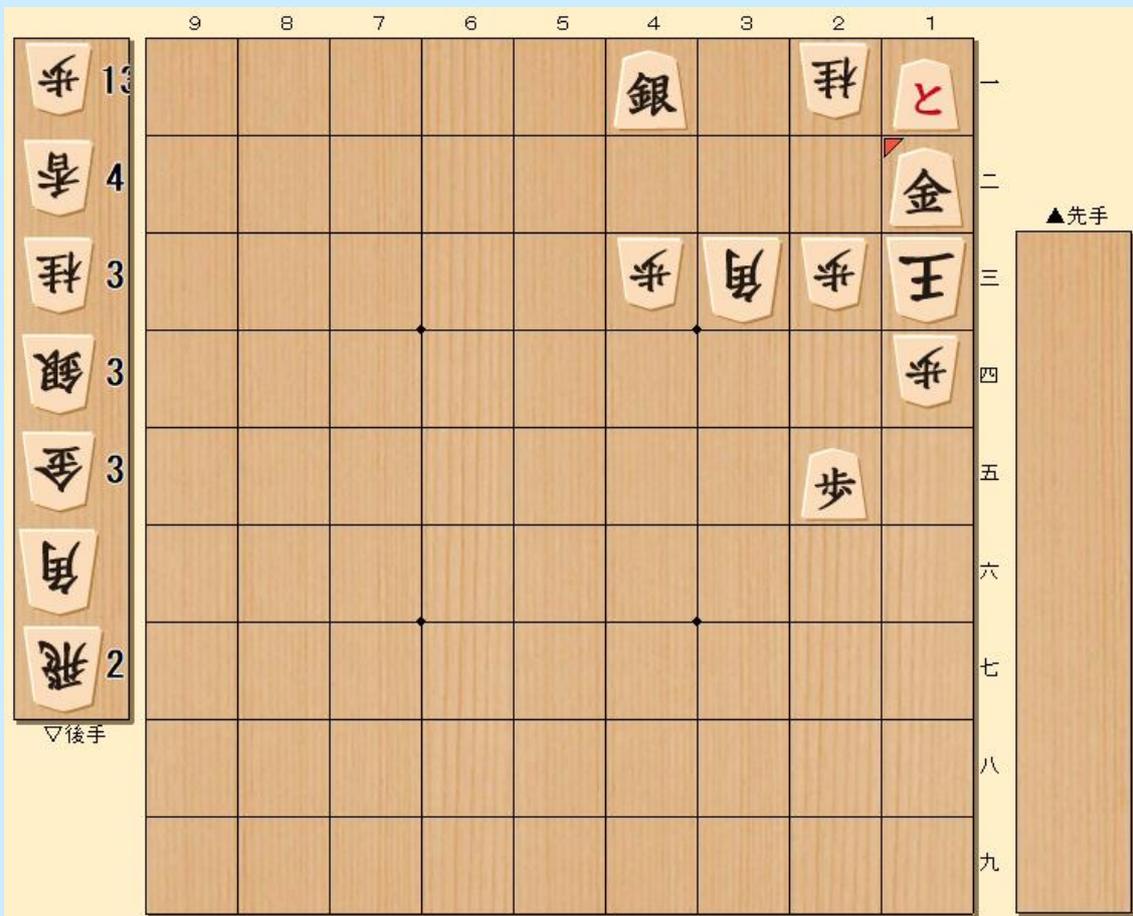
1三へ逃がさないように、▲3一角成はよく見かける手筋ですが、角成で王手してしまうと、打ち歩詰めになってしまいます。そこで、初手▲3一角不成と王手するのが正解。その後は解答の流れになります。

解答 ▲3一角不成→△1二玉→▲1三歩打→△2一玉→▲3二香 までの5手詰
▲3一角不成→△1二玉→▲1三歩打→△2一玉→▲3二金 までの5手詰

第5問



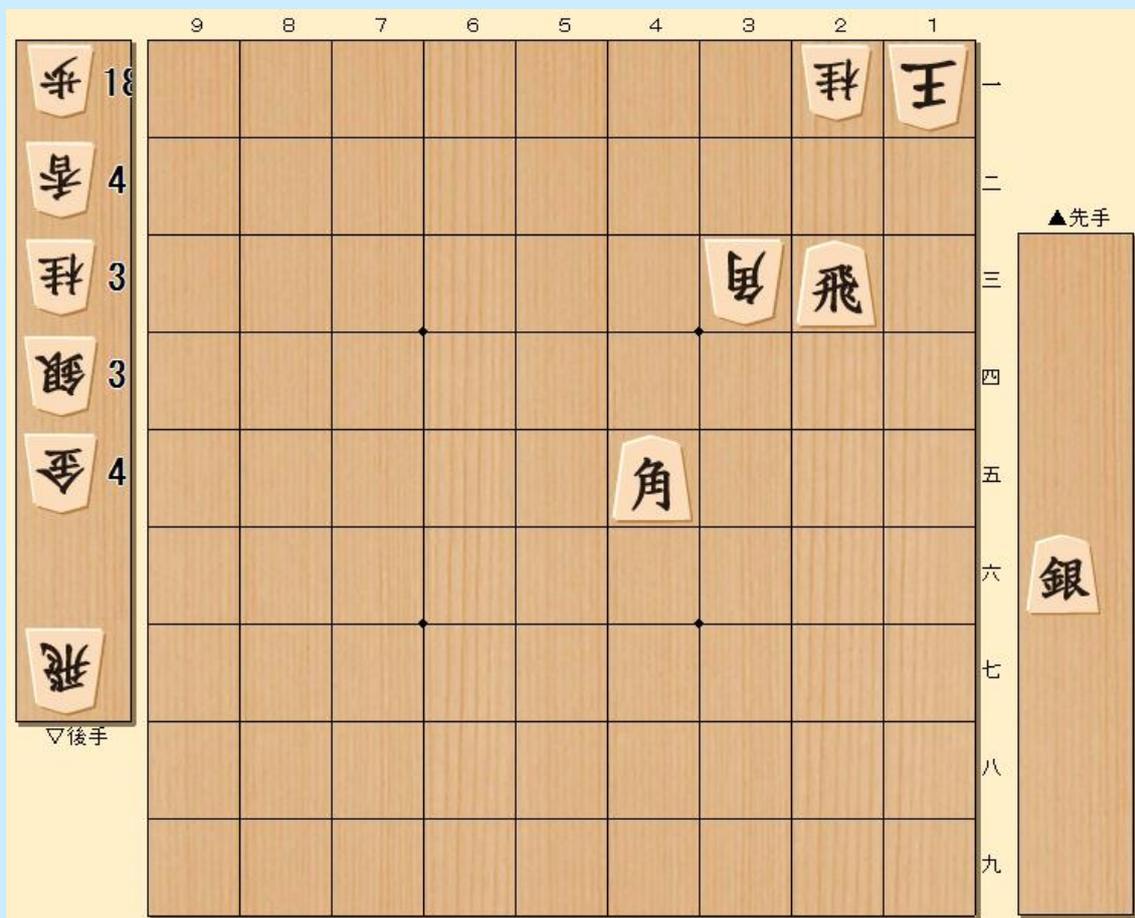
第5問の解説



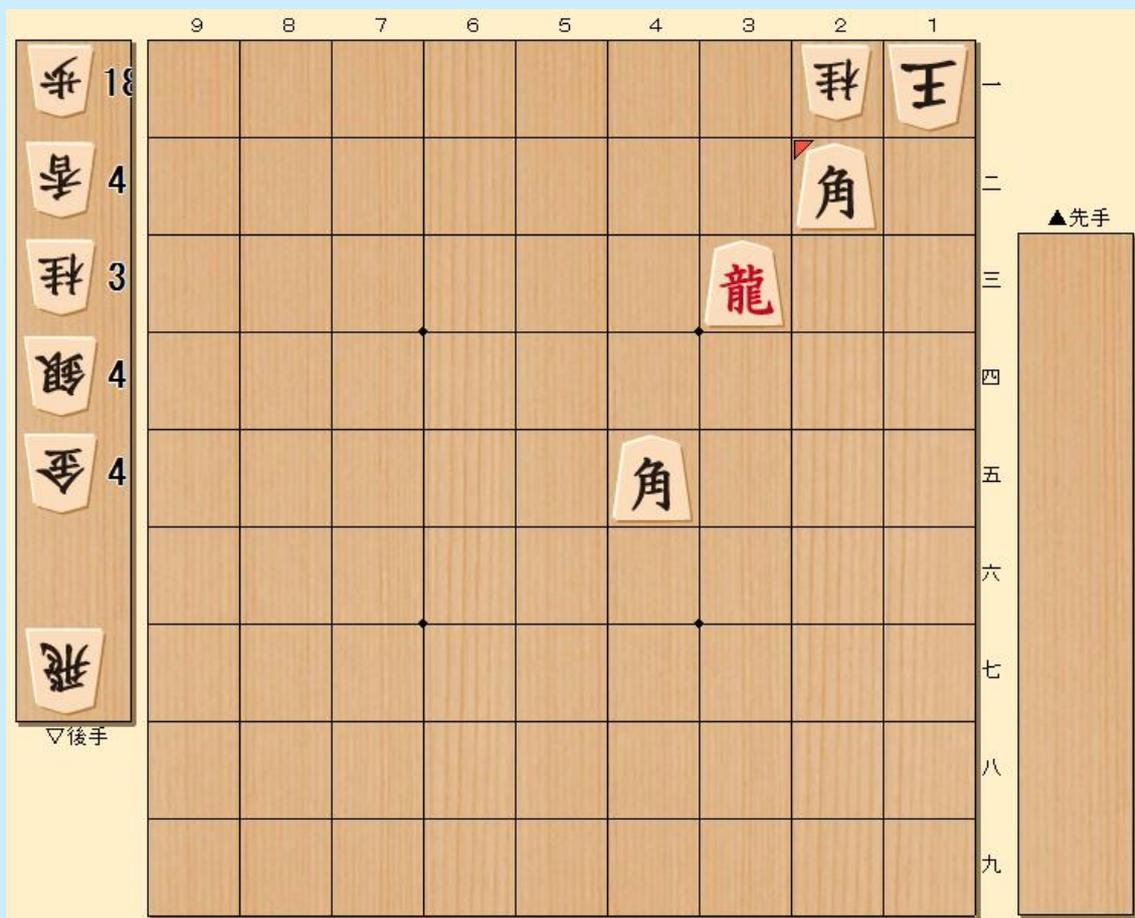
初手は▲3三銀が正解です。この手に、△同玉と応じるのは、▲3二金までとなります。また、△同桂も、▲2一金まで。正しい応手は、△同角。そして、▲1三馬と捨てて、△同玉→▲1二金で詰みです。4手目に△同桂とするならば、▲2一金と尻金を打って詰みです。

解答 ▲3三銀打→△同角→▲1三馬→△同玉→▲1二金打 までの5手詰
 ▲3三銀打→△同角→▲1三馬→△同桂→▲2一金打 までの5手詰

第6問



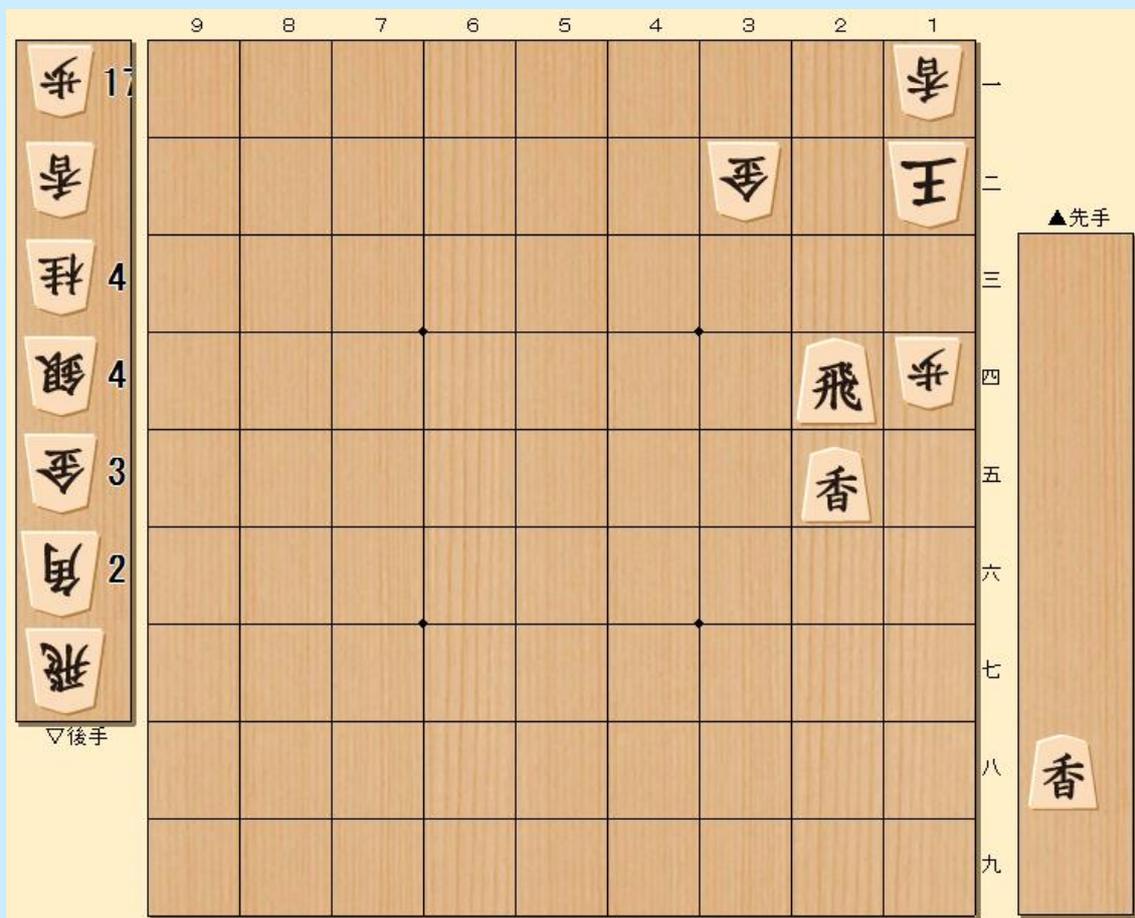
第6問の解説



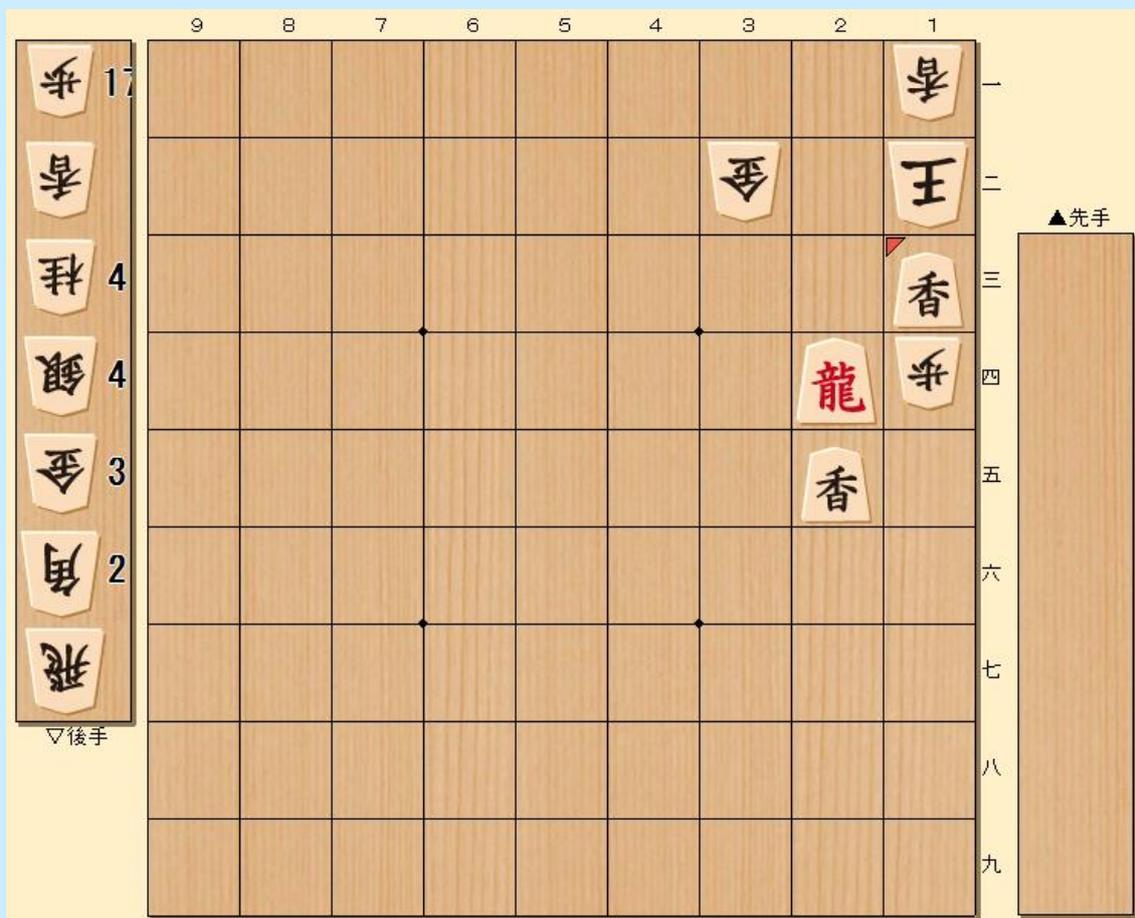
初手▲1二銀と銀を捨てて、角のラインに玉を誘います。△同玉→▲3三飛成と開き王手しながら駒を補充。△1一玉の一手に、▲2二角で詰み上がりです。

解答 ▲1二銀打→△同玉→▲3三飛成→△1一玉→▲2二角打 までの5手詰

第7問



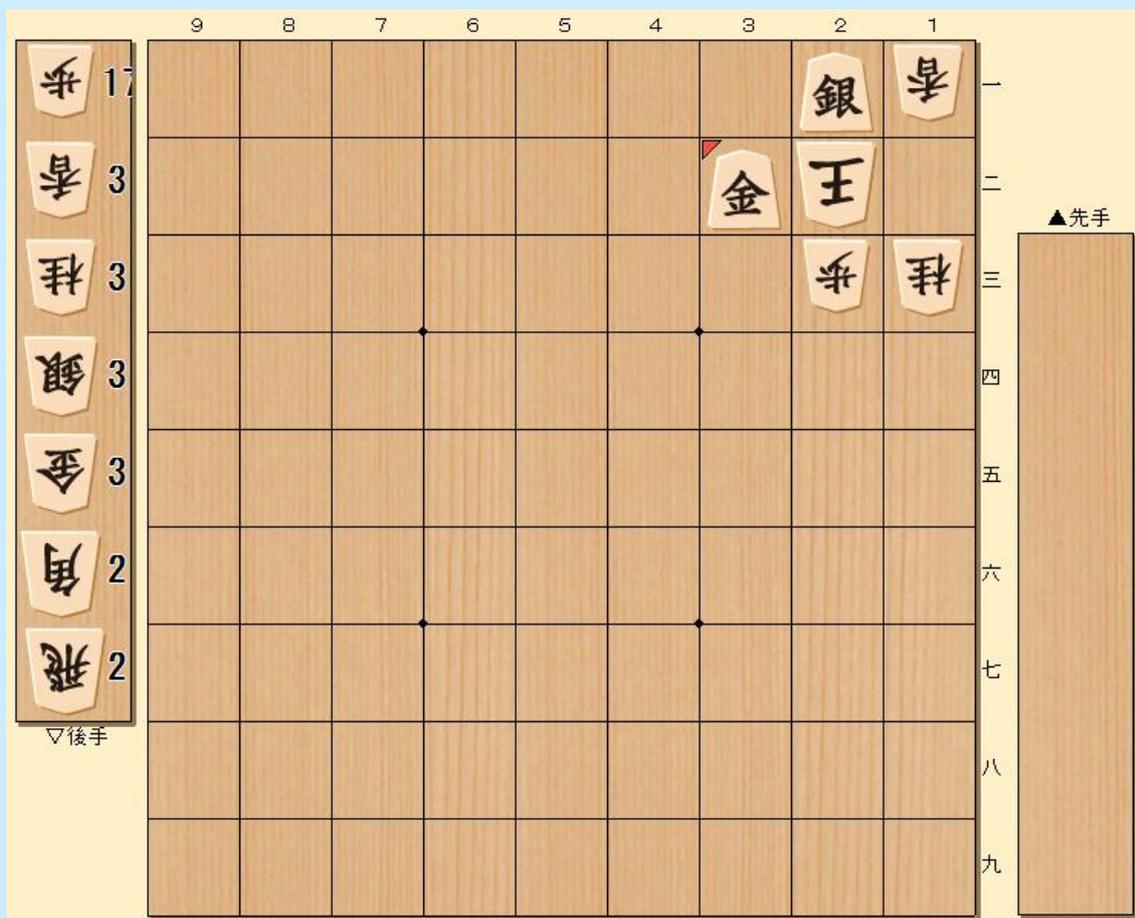
第7問の解説



龍を作るのが先決。初手▲2一飛成と王手するのが正解です。その後は、解答の流れになります。

解答 ▲2一飛成→△1三玉→▲2四龍→△1二玉→▲1三香打 までの5手詰

第8問の解説

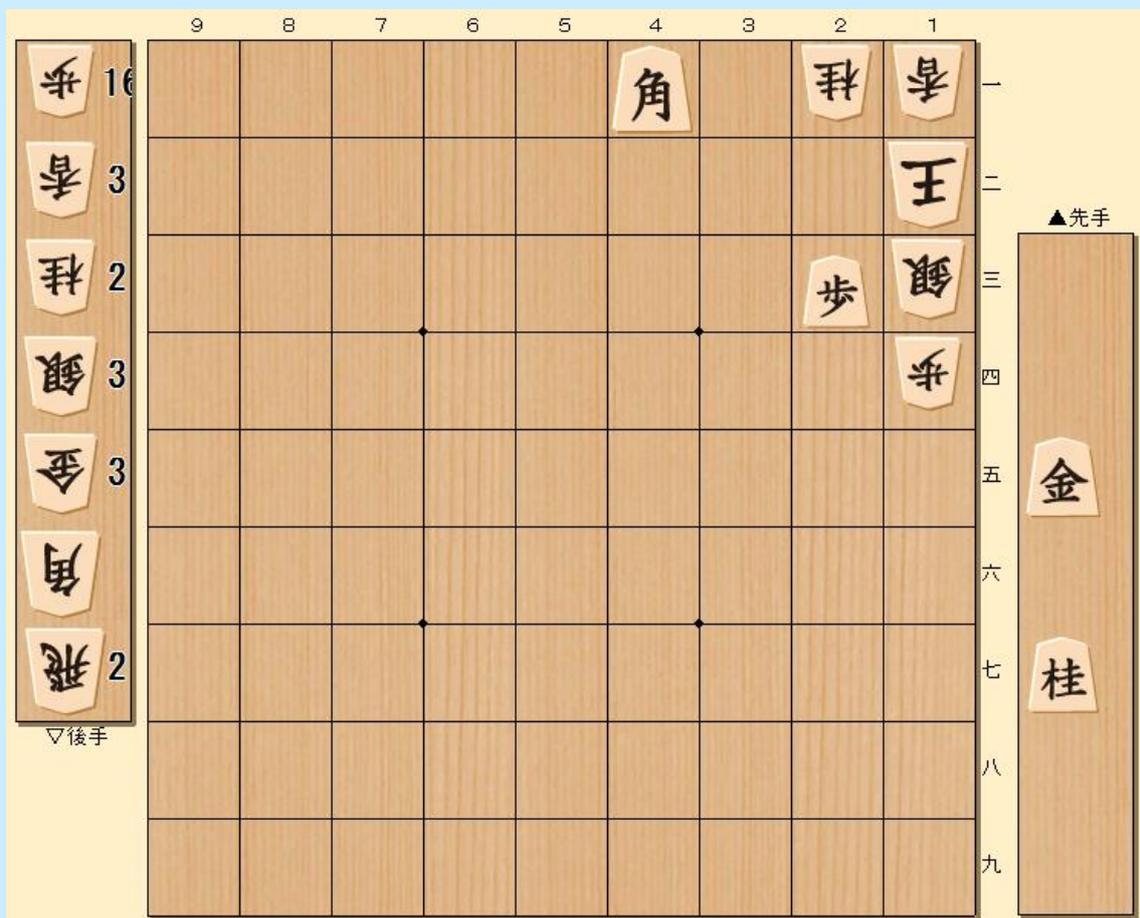


玉を1三から上部に脱出されては詰みません。▲1三銀打と捨て△同桂と取らせることで逃げ道を塞ぎます。次に、▲2一銀左不成が正解で、その後は、解答の流れになります。

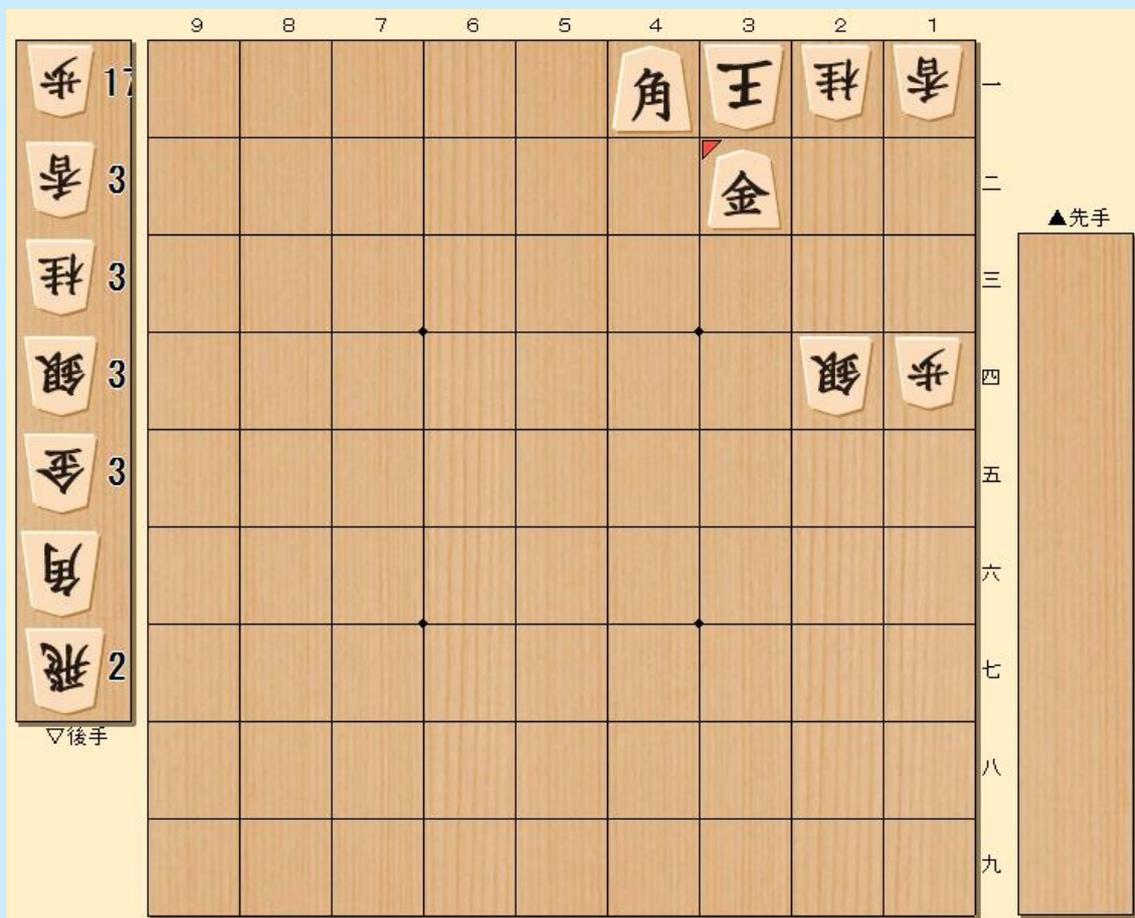
解答 ▲1三銀打→△同桂→▲2一銀左不成→△2二玉→▲3二金打 までの5手詰

◆ 7 手詰編 ◆

第1問



第1問の解説

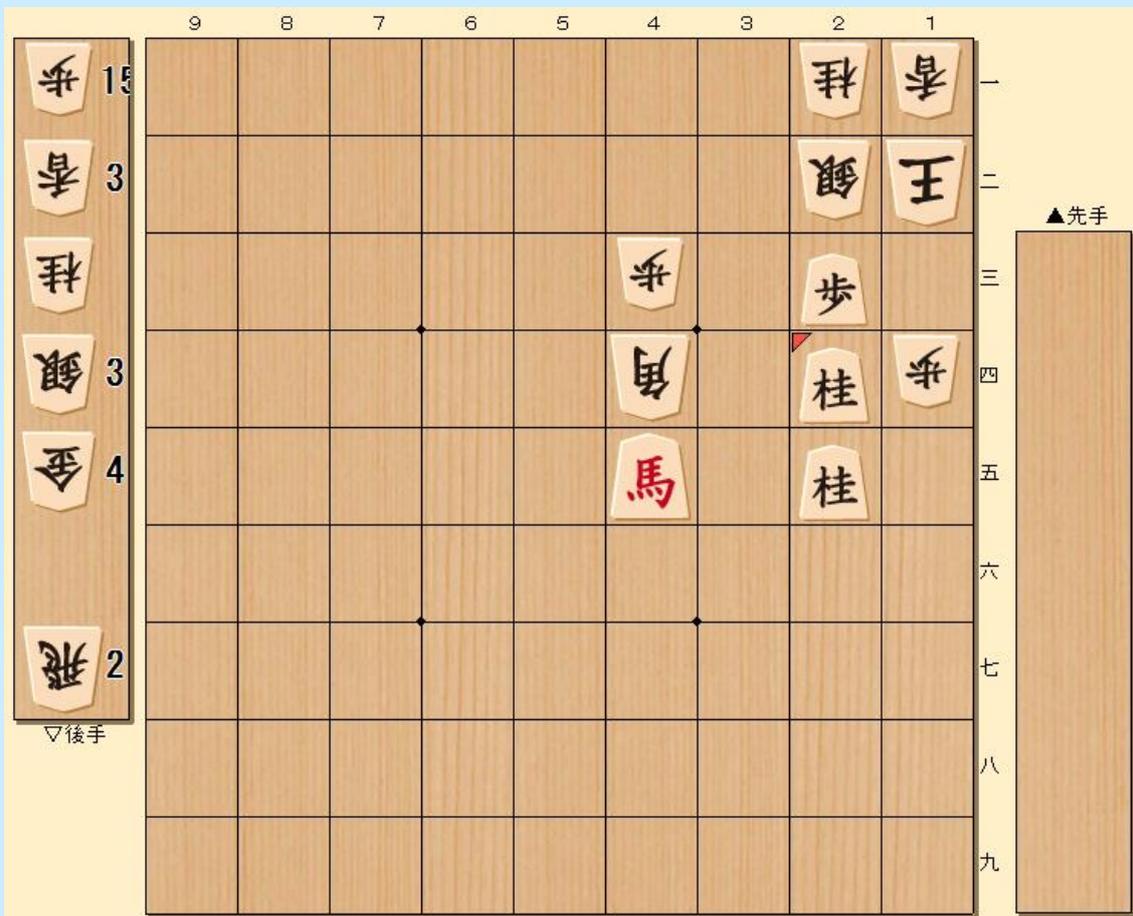


守りによく利いている1三の銀を▲2四桂→△同銀で無力化します。邪魔駒になっている2三の歩を2二歩成と成り捨て、△同玉に頭金の▲2三金→△3一玉と玉を下段に落とします。あとは▲3二金または▲3二角成で詰み上がりとなります。

解答 ▲2四桂打→△同銀→▲2二歩成→△同玉→▲2三金打→△3一玉→▲3二金
までの7手詰

▲2四桂打→△同銀→▲2二歩成→△同玉→▲2三金打→△3一玉→▲3二角成
までの7手詰

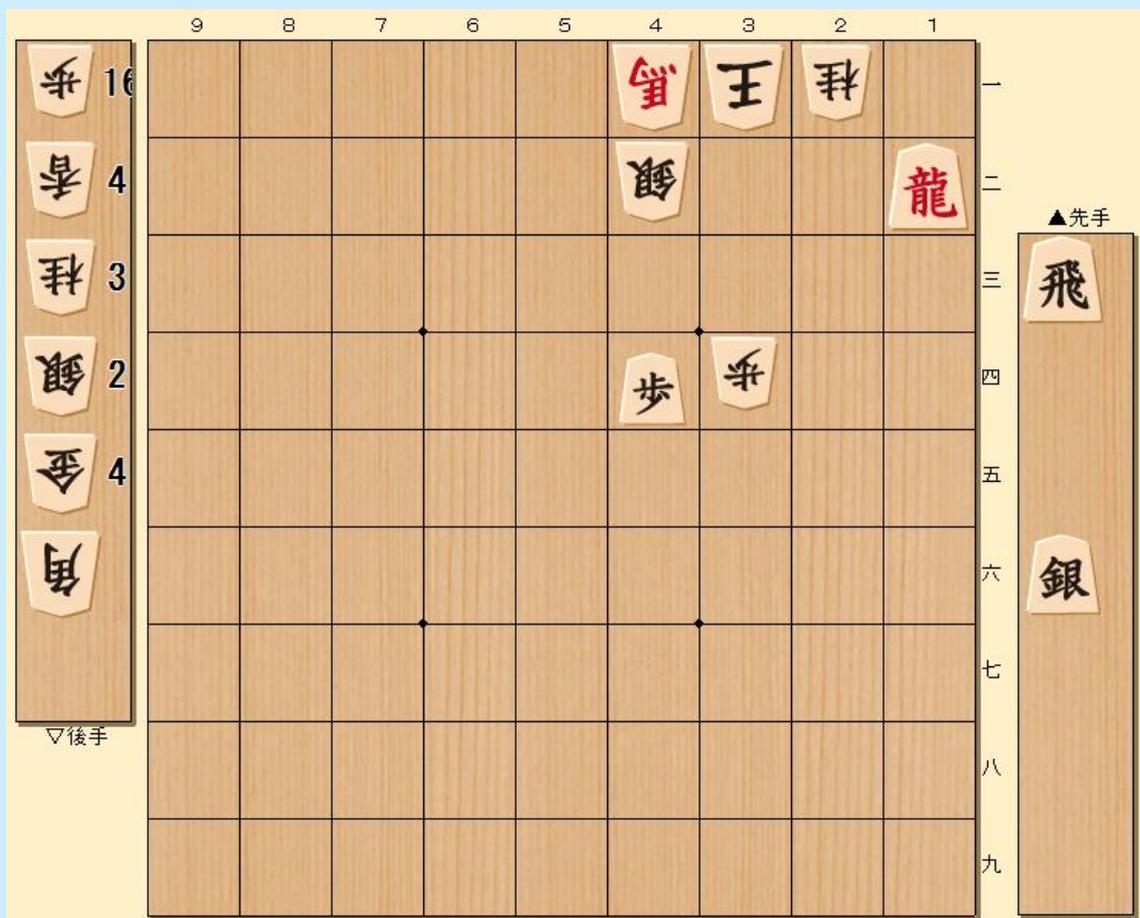
第2問の解説



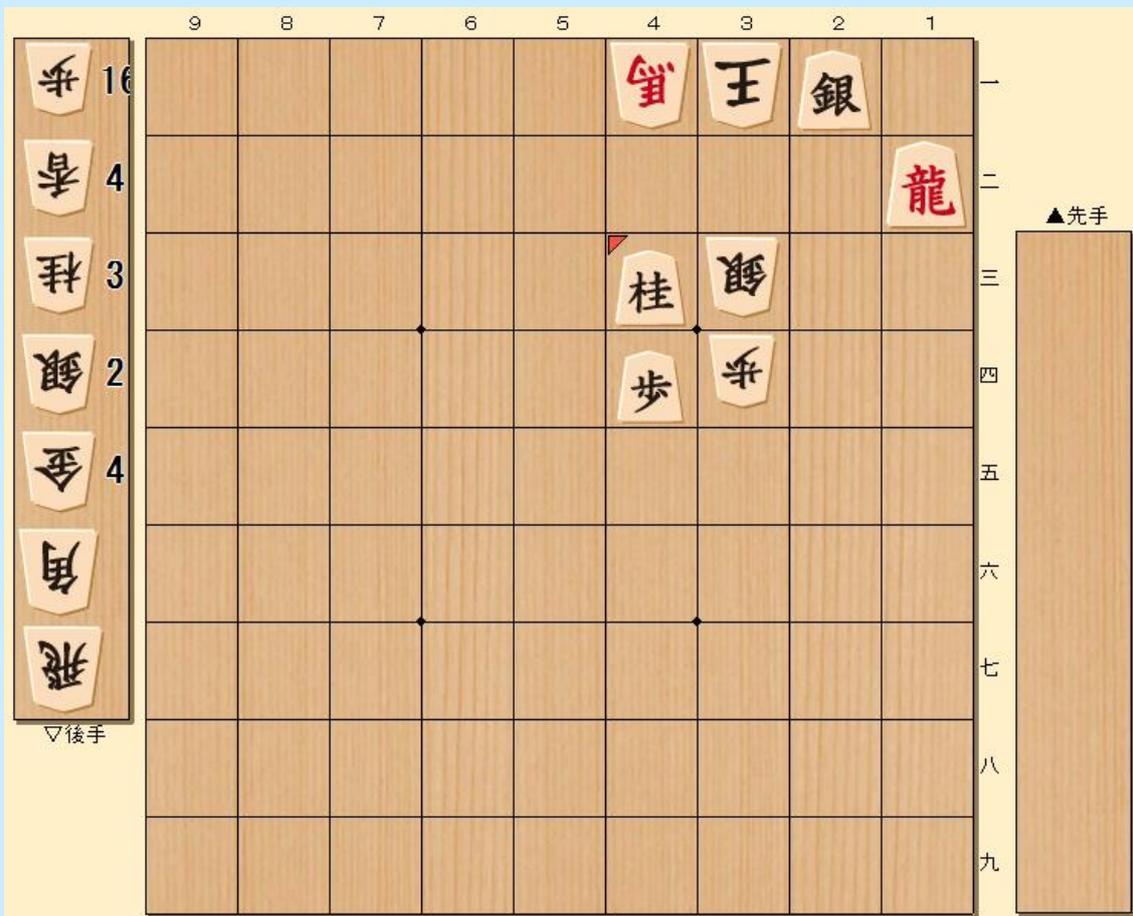
▲2二歩成と両王手を掛けたくりますが、△同玉と取られ、広い方へ玉を逃がしてしまいます。初手▲1三香打と王手するのが好手。△同桂と応じるのは、▲2四桂打→△同銀→▲同桂→△2一玉→▲3二金で詰みますが駒余りです。正しい応手は、△同玉→▲2五桂→△1二玉。ここで▲2二金と捨て、△同銀とさせることで、2四への利きをそらし、▲2四桂で詰み上がりとなります。

解答 ▲1三香打→△同玉→▲2五桂打→△1二玉→▲2二金打→△同銀→▲2四桂
までの7手詰

第3問



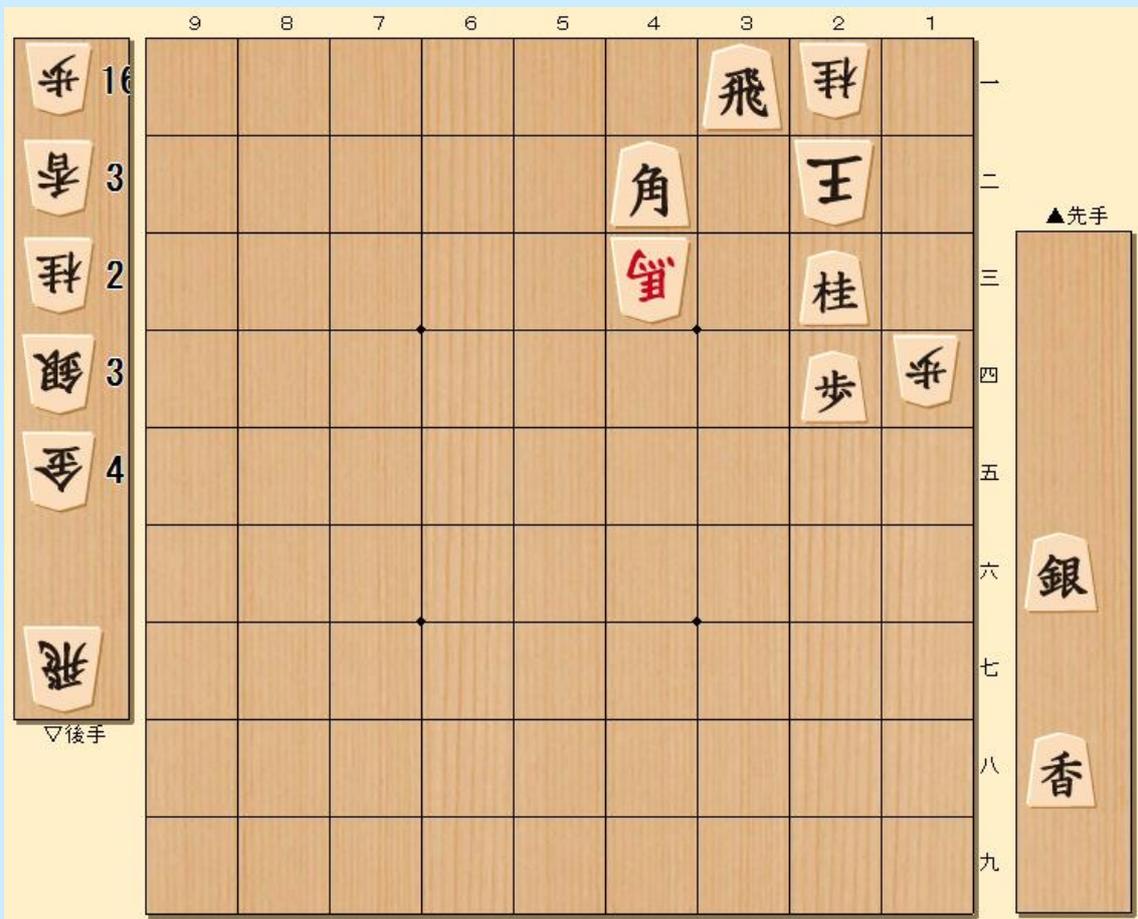
第3問の解説



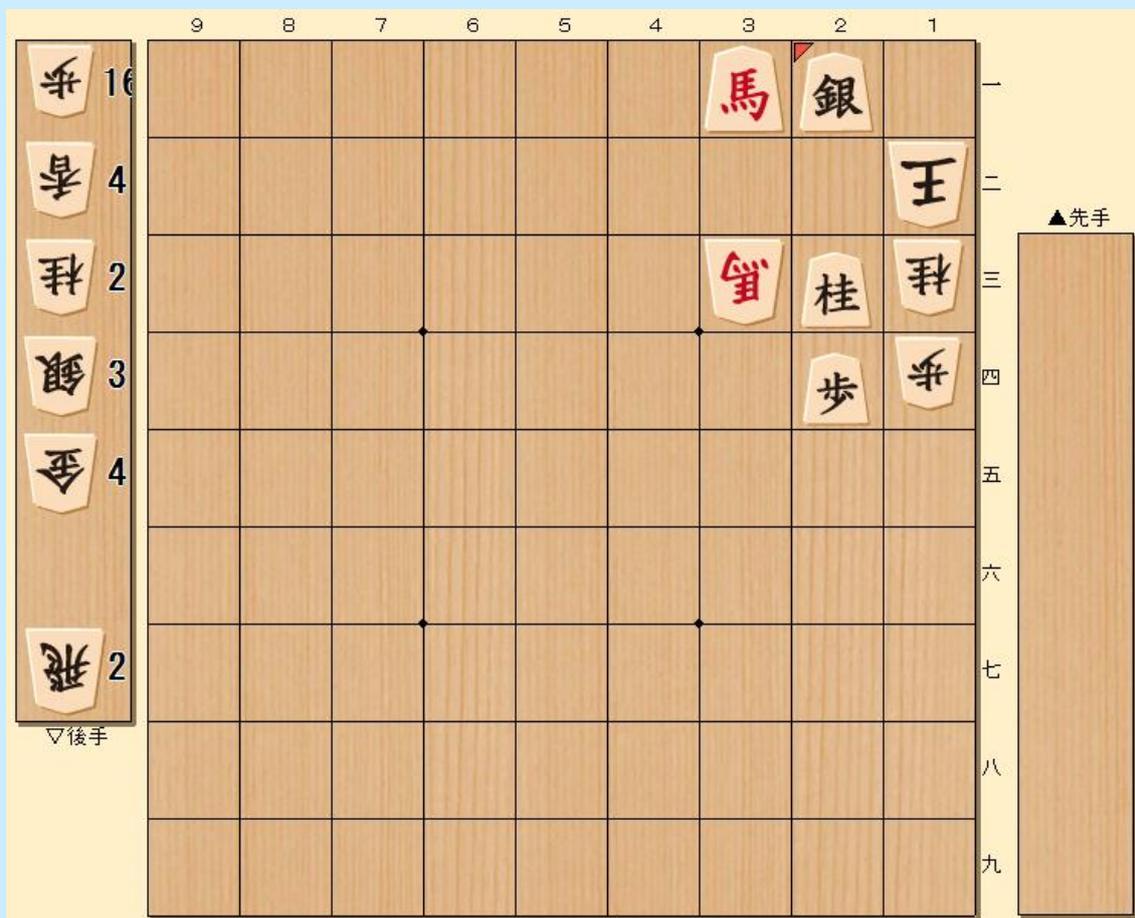
初手▲2二銀打と俗手で王手するのが上手い手。△3二銀→▲3三飛と押さえ込み、△同桂なら▲2一銀成で早詰め。△同銀と応じるのが正解です。ここで、桂馬を取りながら両王手をする▲2一銀不成が好手で、△3一玉の一手に▲4三桂打で詰み上がりです。

解答 ▲2二銀打→△3二玉→▲3三飛打→△同銀→▲2一銀不成→△3一玉
→▲4三桂打 までの7手詰

第4問



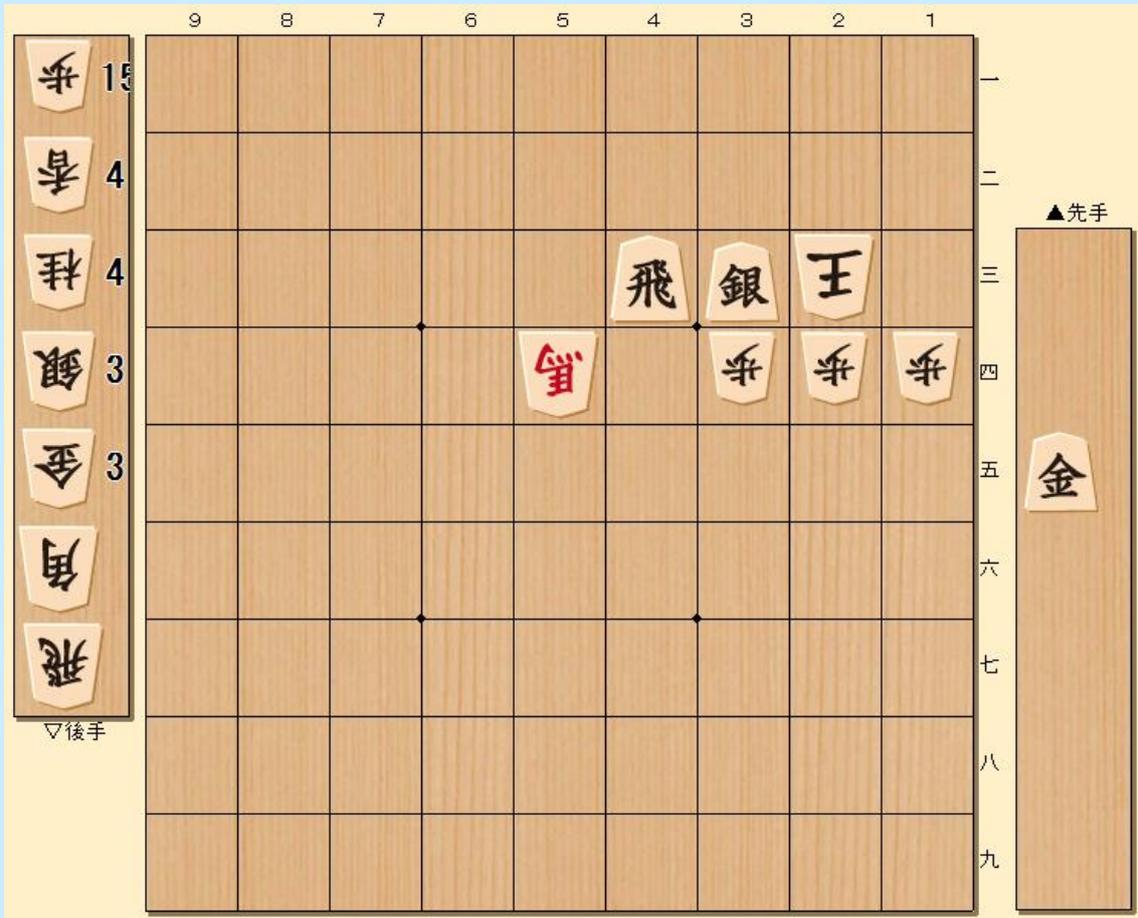
第4問の解説



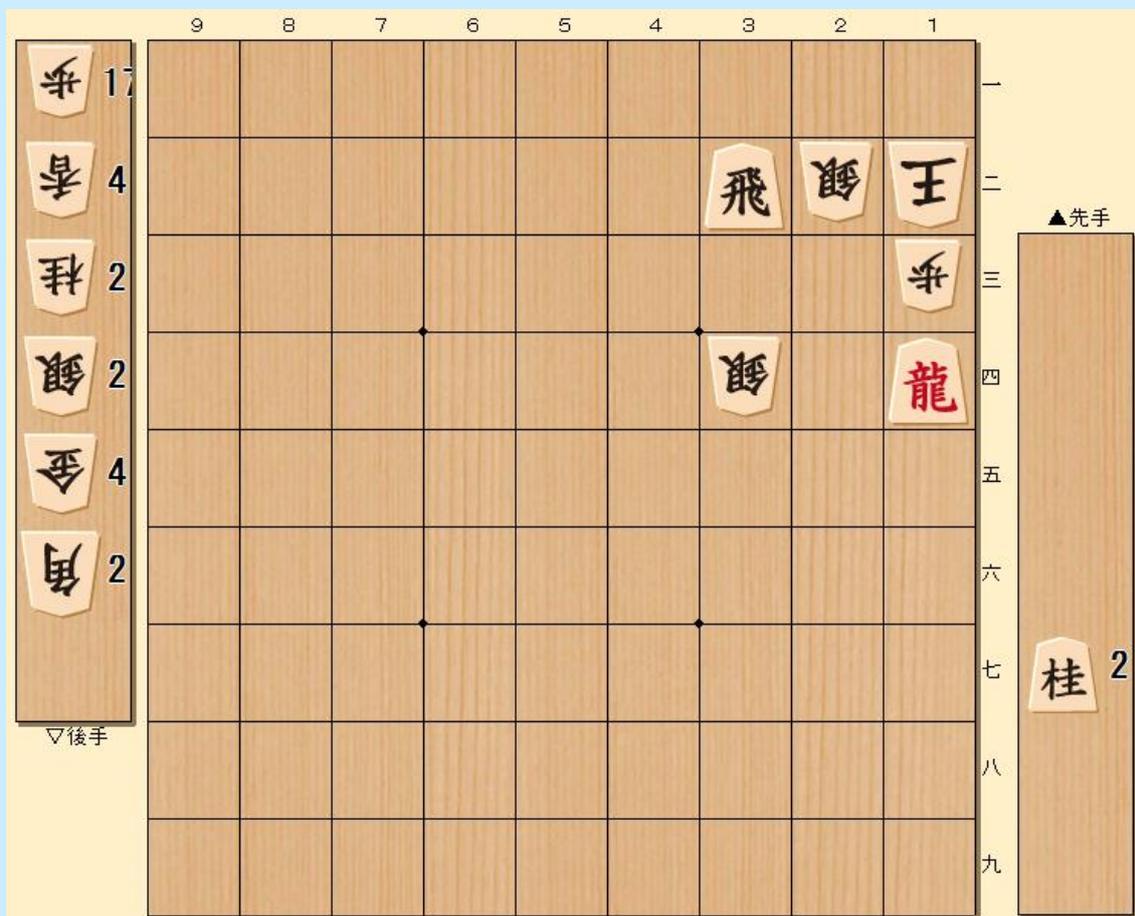
初手▲3三飛成と邪魔駒を消去するのが正解。△1三玉と応じるのは、▲3一角成→△1二玉→▲2二馬で早詰め。また、△1二玉と応じる手は、▲1一桂成→△同玉→▲2二銀→△1二玉→▲2三歩成で駒余り。正しい王手は、△同馬→▲3一角成→△1二玉。次に、▲1三香打と捨てて、△同桂に空いたスペースに、▲2一銀と打って詰み上がりです。

解答 ▲3三飛成→△同馬→▲3一角成→△1二玉→▲1三香打→△同桂→▲2一銀打
までの7手詰

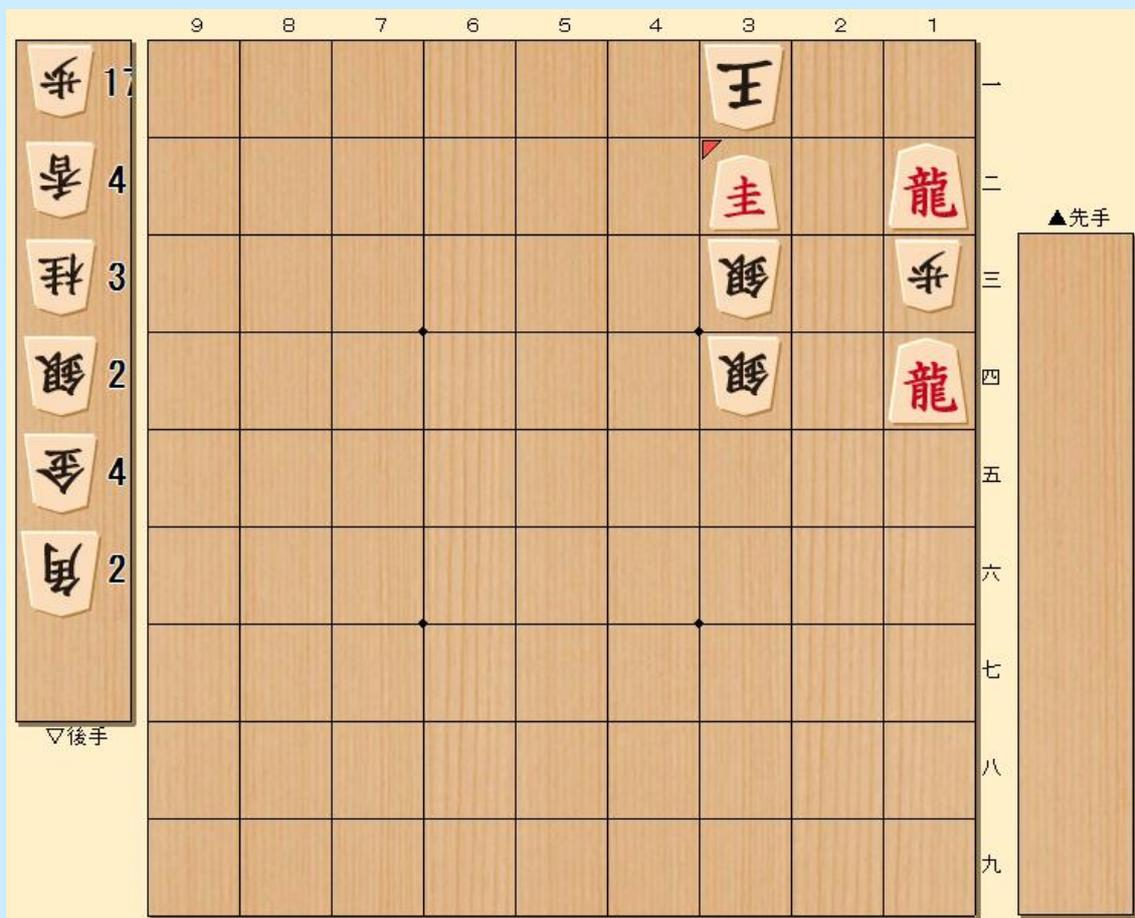
第5問



第6問



第6問の解説

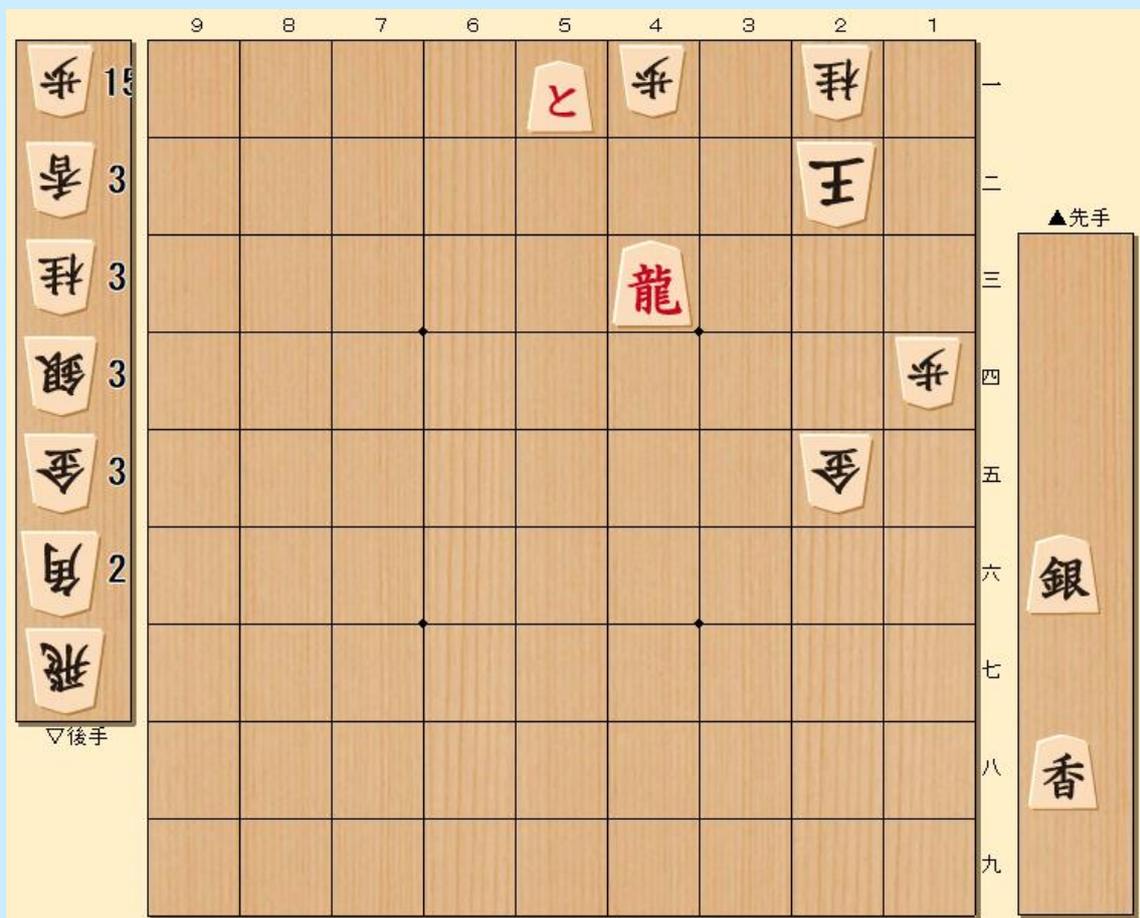


初手▲2四桂打に△1一玉と応じるのは、▲1三龍→△同銀→▲1二飛成で早詰め。正しい応手は、△2一玉→▲3三桂打→△同銀と桂馬を捨てて、飛車の横利きを通します。その後は、解答の流れになります。

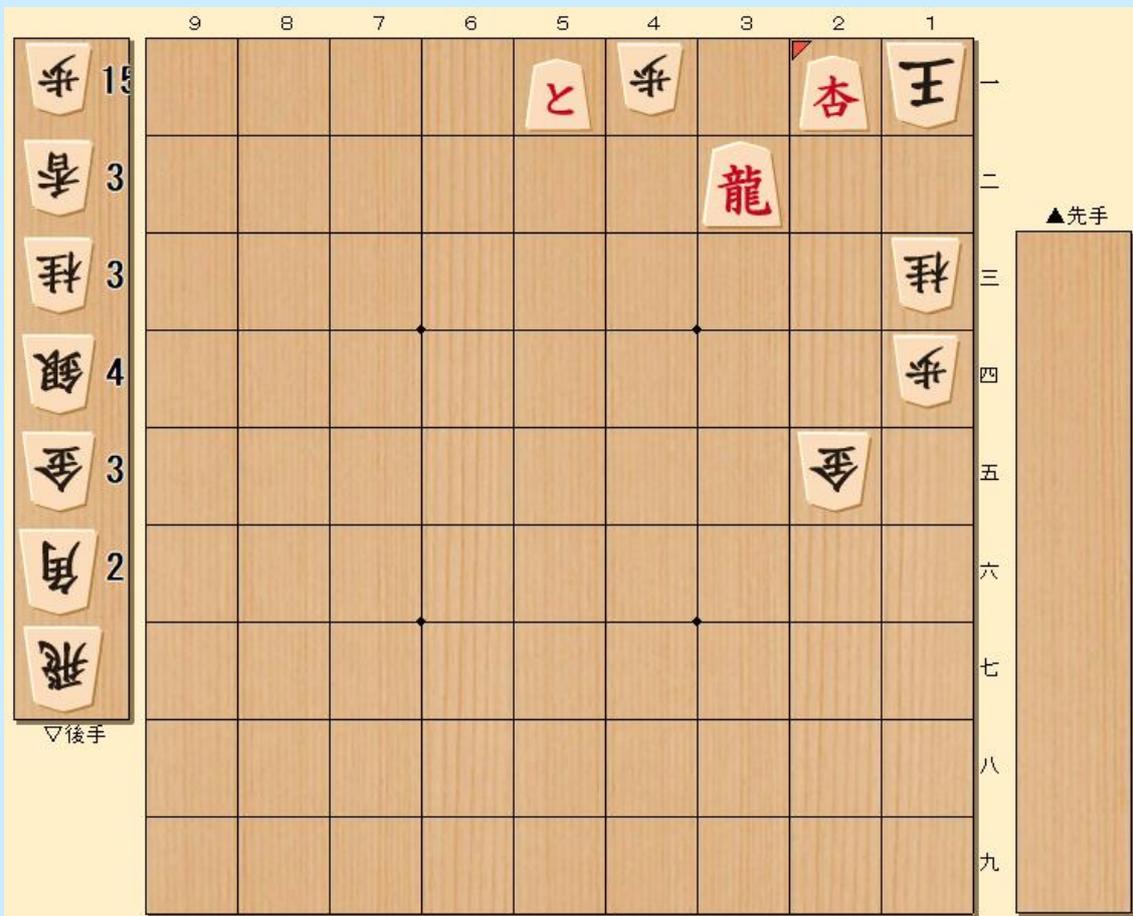
解答 ▲2四桂打→△2一玉→▲3三桂打→△同銀→▲1二飛成→△3一玉→▲3二桂成
までの7手詰

▲2四桂打→△2一玉→▲3三桂打→△同銀→▲1二飛成→△3一玉→▲3二龍
までの7手詰

第7問



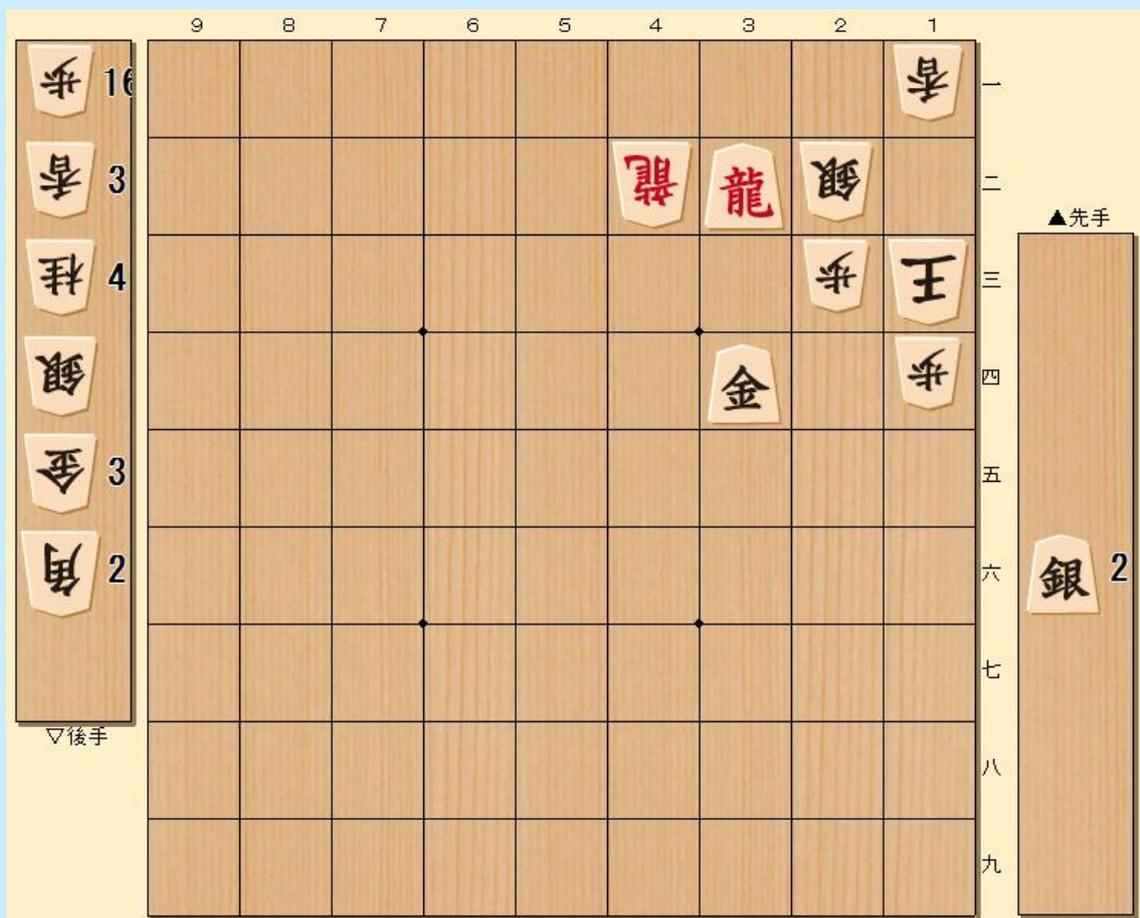
第7問の解説



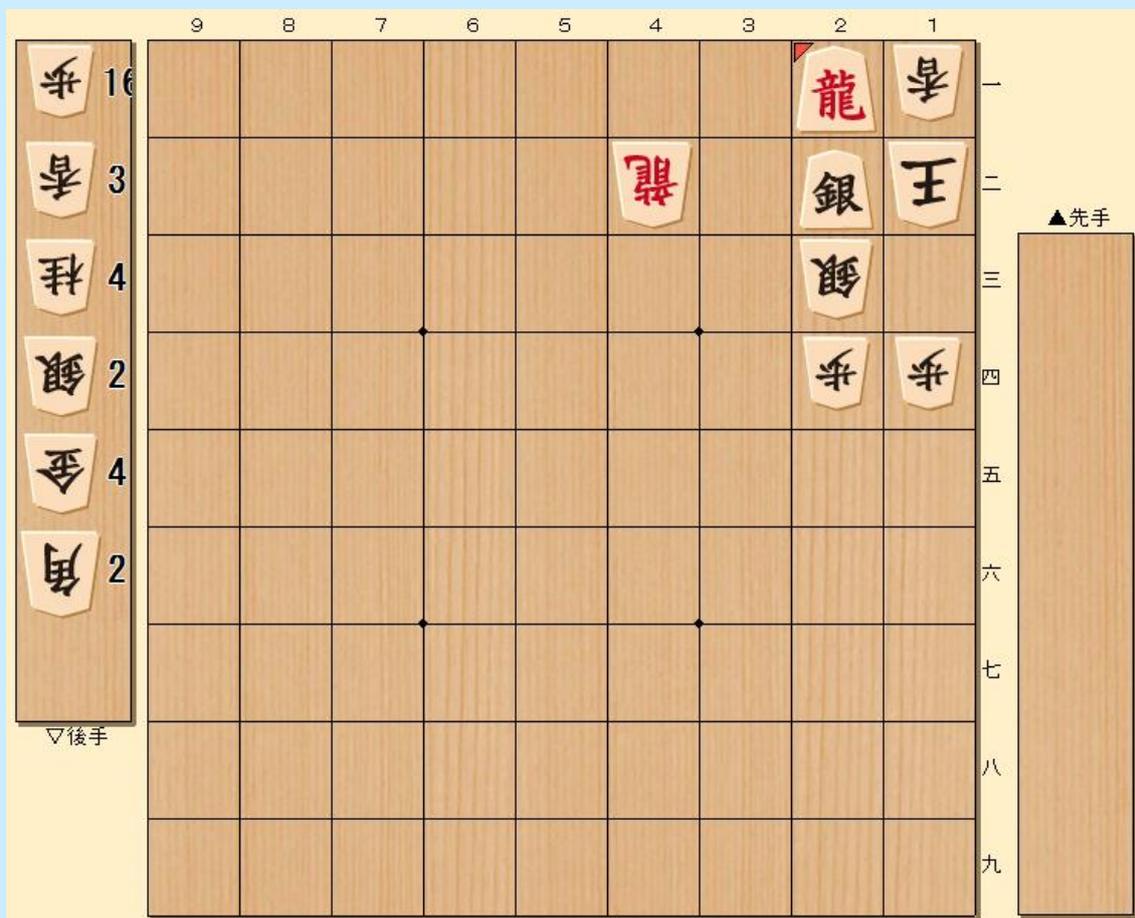
取っ掛かりは、飛車の横利きに、駒を打って王手をするのですが、正直に追いかければ上部へ逃げられてしまいます。初手▲1三銀と捨てるのが好手。△同桂→▲2三香打。
 △1二玉と応じますが▲3二龍→△1一玉→▲2一香成（または、▲2二香成、
 ▲2一龍、▲2二龍）までとなります。

- 解答 ▲1三銀打→△同桂→▲2三香打→△1二玉→▲3二龍→△1一玉→▲2一香成
 までの7手詰
- ▲1三銀打→△同桂→▲2三香打→△1二玉→▲3二龍→△1一玉→▲2一龍
 までの7手詰

第8問



第8問の解説

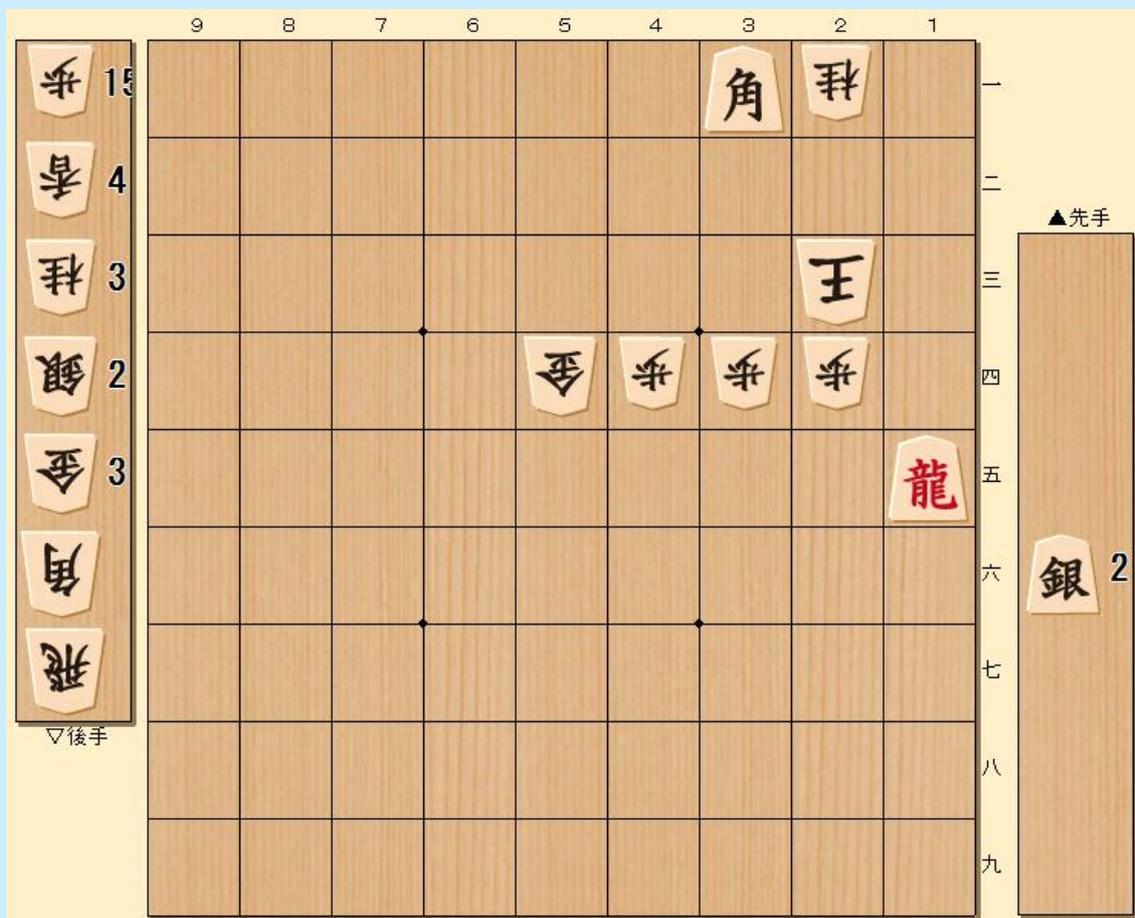


初手▲2四銀打→△同銀と逃げ道を封鎖しておいてから、▲2三金と入るのが上手い手順です。△同銀の一手に、▲2二銀打→△1二玉。そして、龍をもぐりこむ▲2一龍で詰め上がりです。

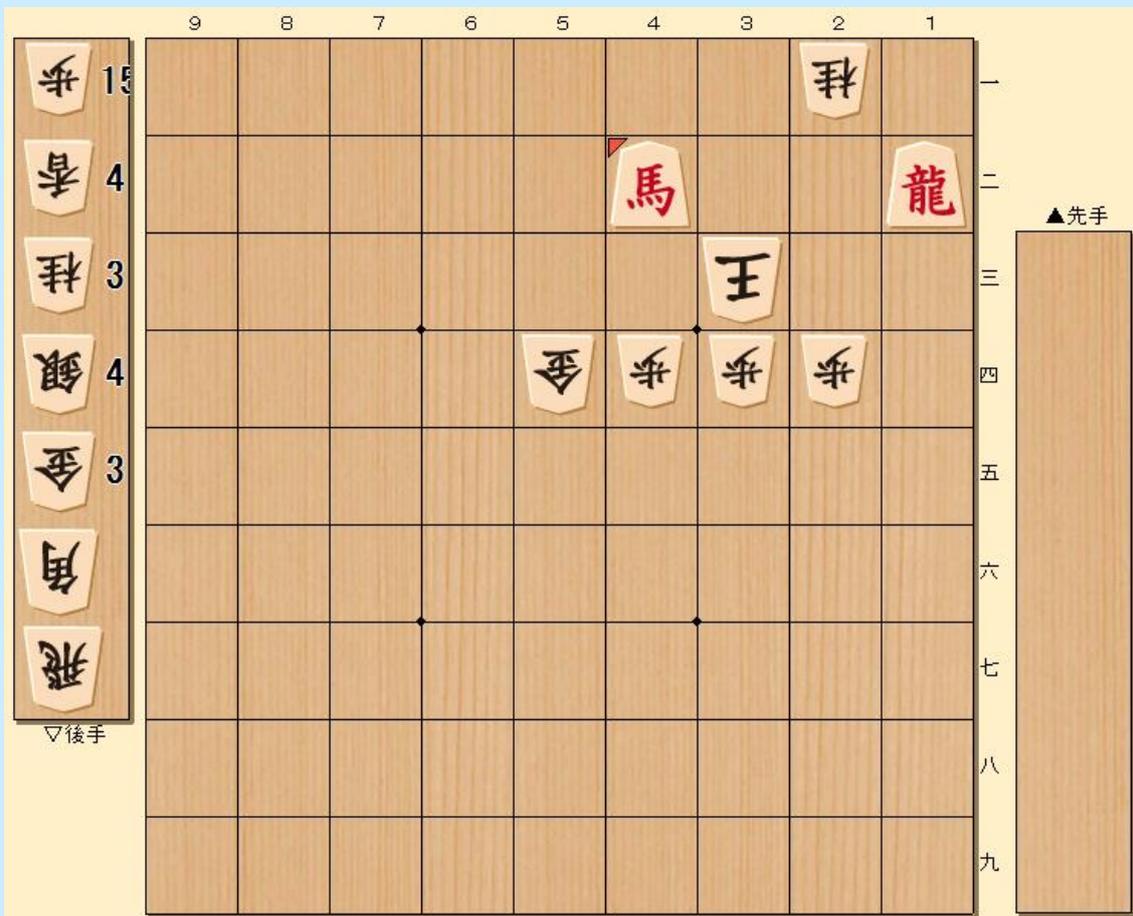
解答 ▲2四銀打→△同歩→▲2三金→△同銀→▲2二銀打→△1二玉→▲2一龍
までの7手詰

◆ 9 手詰編 ◆

第1問



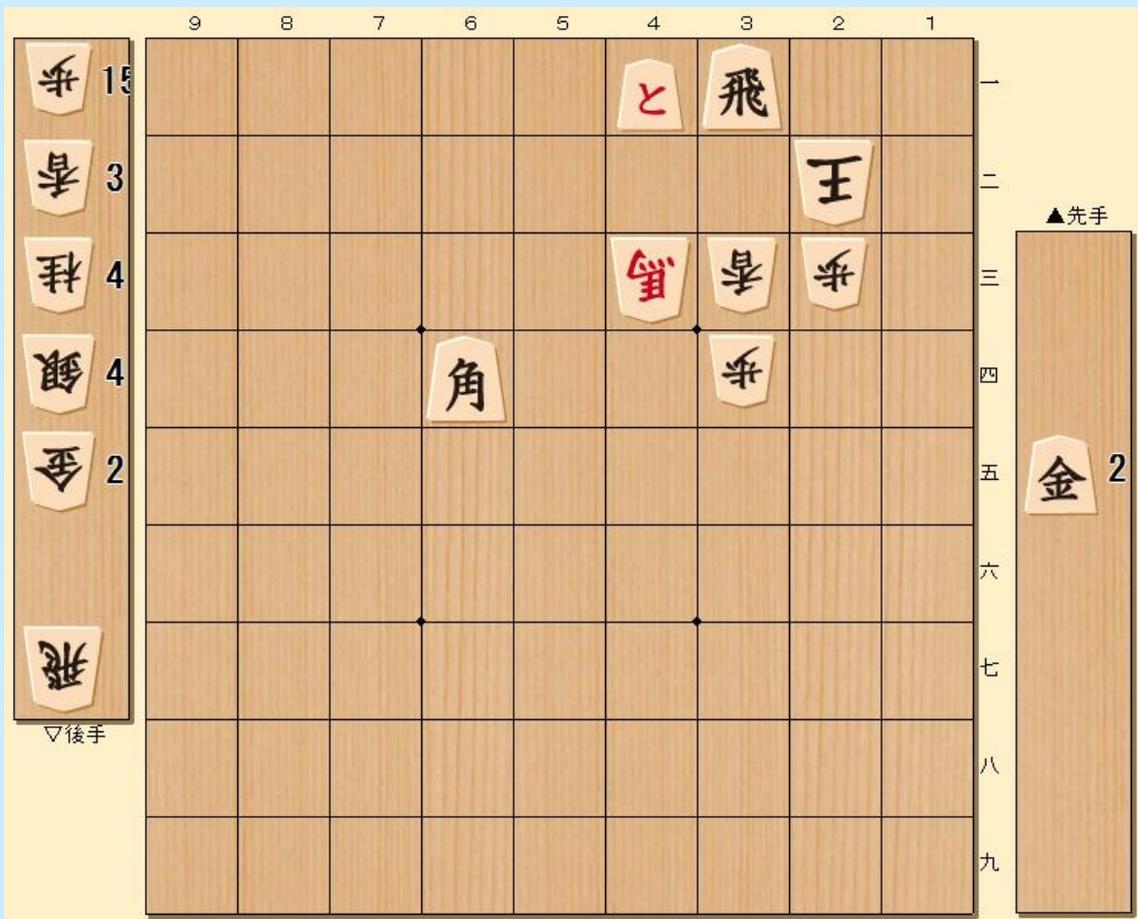
第1問の解説



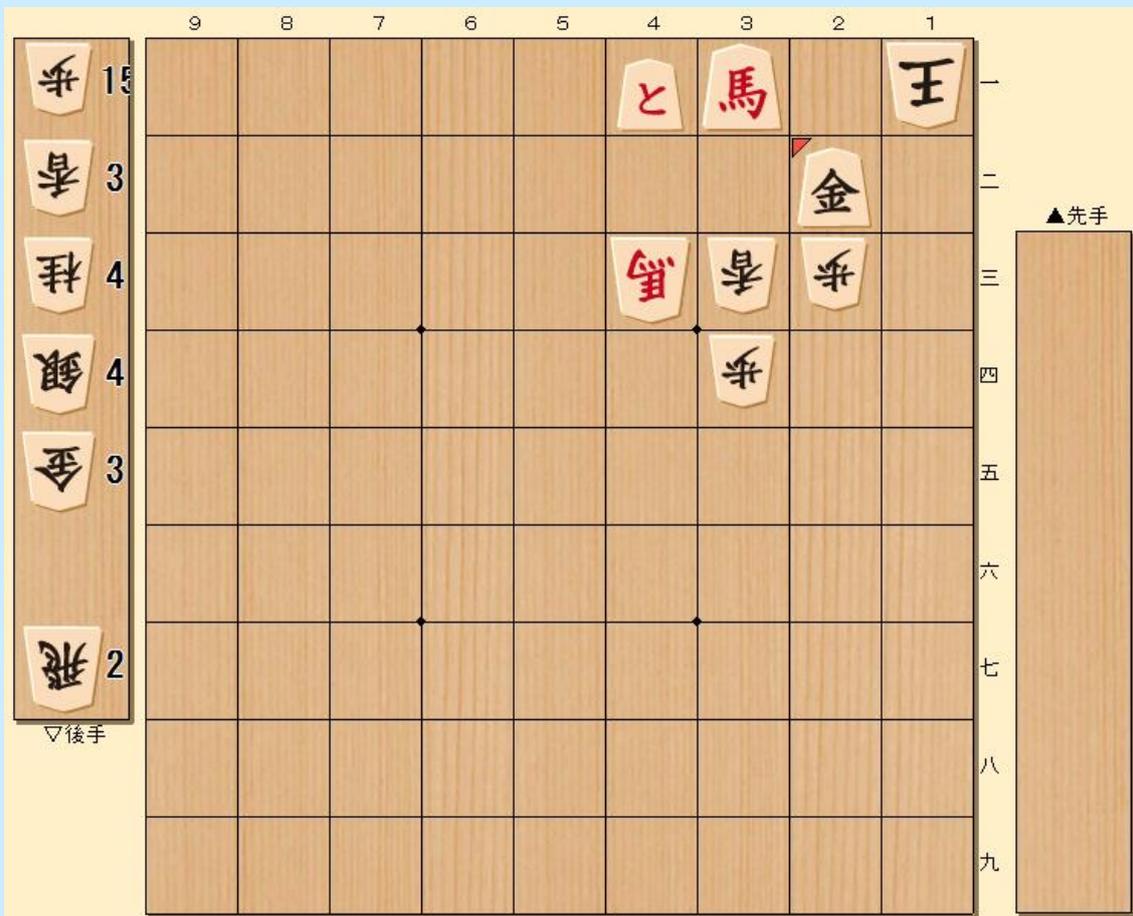
初手▲3二銀打と打つのが急所の一手。△同玉は、▲1二龍からの早詰め。正しい応手は、△3三玉→▲4二銀打→△3二玉→▲1二龍と龍が入ります。△4三玉→▲3三銀成が好手。△同玉の一手に、▲4二角成で詰み上がりです。

解答 ▲3二銀打→△3三玉→▲4二銀打→△3二玉→▲1二龍→△4三玉→▲3三銀成→△同玉→▲4二角成 までの9手詰

第2問



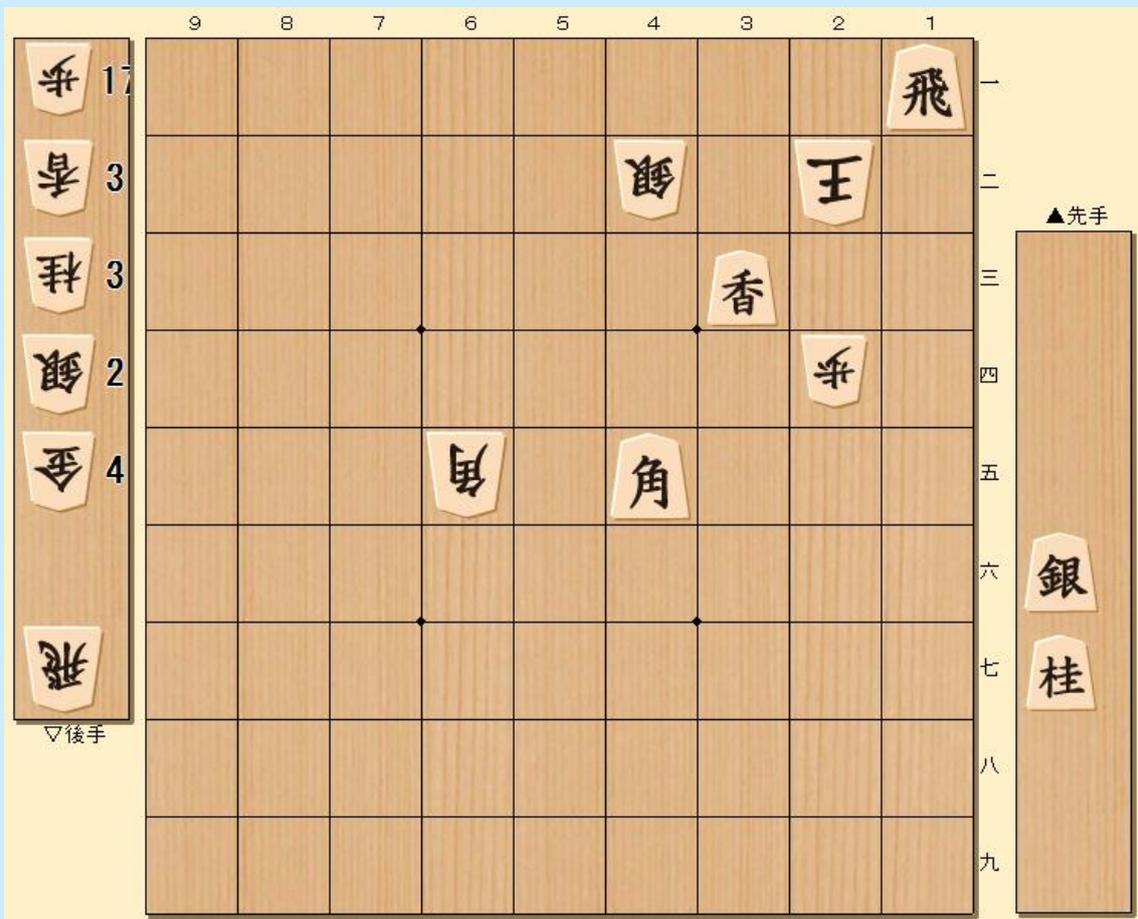
第2問の解説



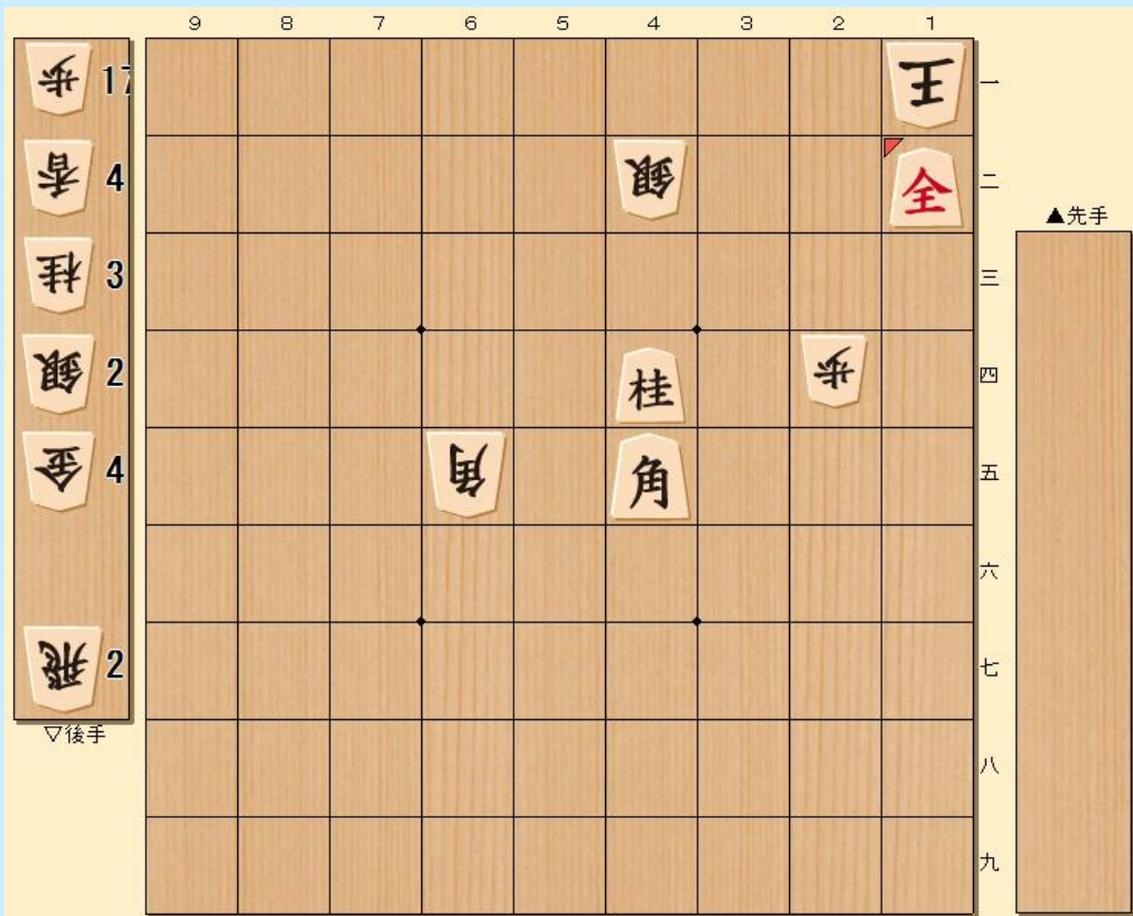
6四の角が3一に成れたら、詰みやすくなります。邪魔駒の消去と上部脱出を防ぐ▲1一飛成が正解。△同玉→▲2二金打→△同玉と同じ位置に玉を引っ張り出します。待望の▲3一角成→△1二玉→▲1三金打→△1一玉→▲2二金または▲2二馬で詰み上がりです。

解説 ▲1一飛成→△同玉→▲2二金打→△同玉→▲3一角成→△1二玉→▲1三金打→△1一玉→▲2二金 までの9手詰
▲1一飛成→△同玉→▲2二金打→△同玉→▲3一角成→△1二玉→▲1三金打→△1一玉→▲2二馬 までの9手詰

第3問



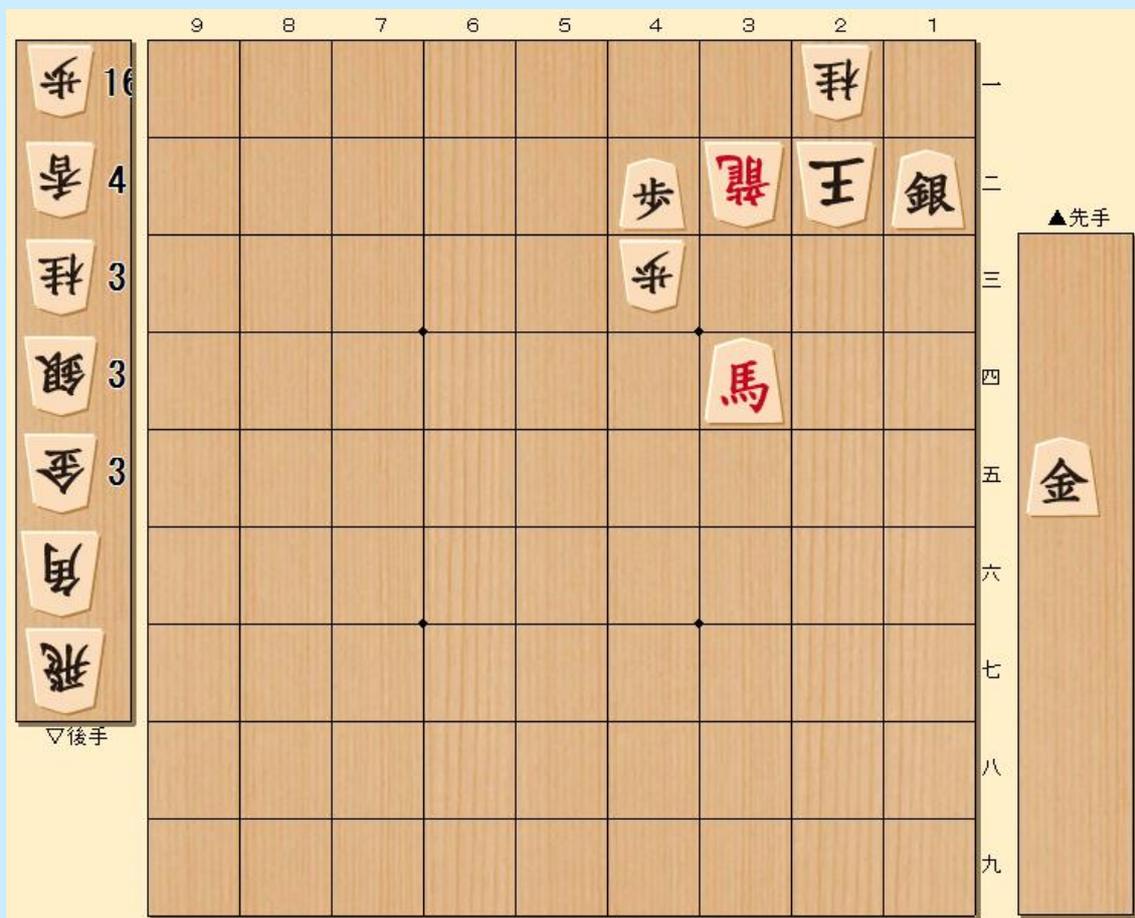
第3問の解説



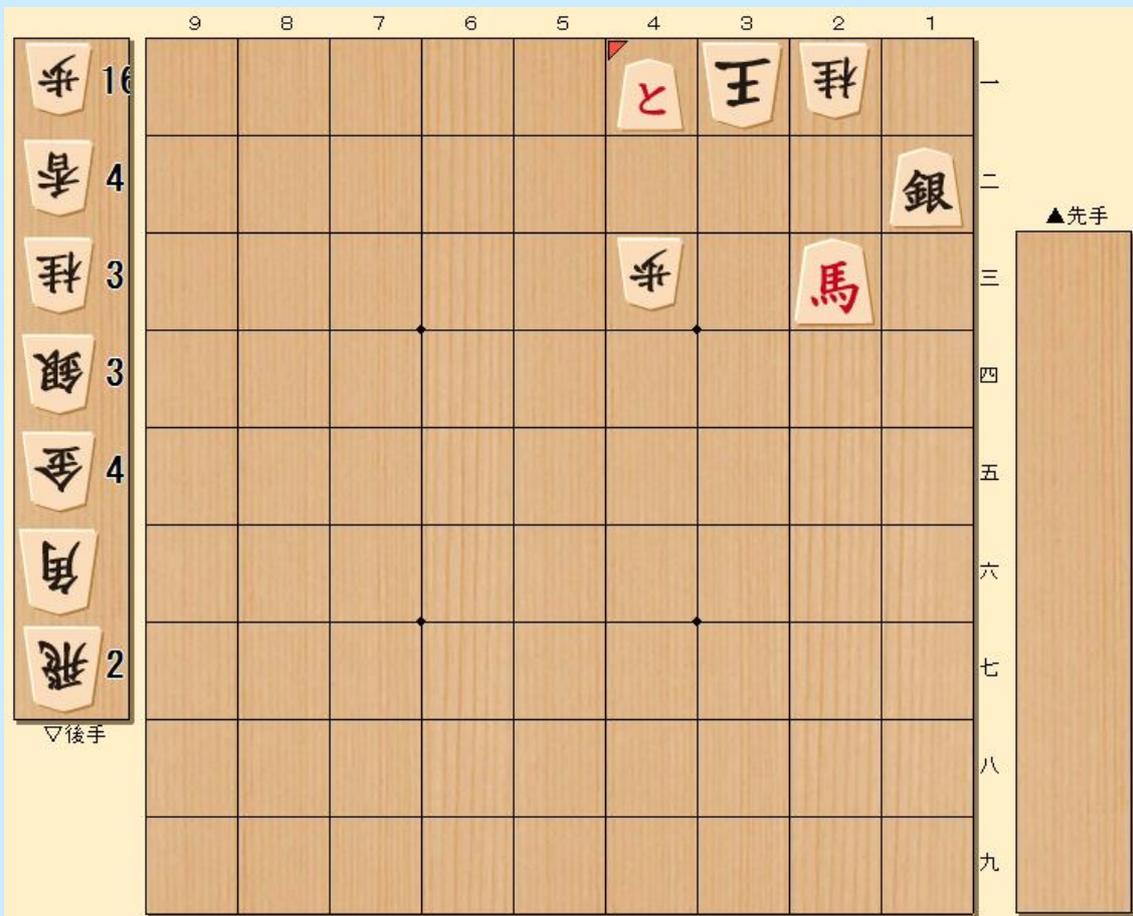
持駒に金があれば2三から打っていけばいいので、成駒を作ってどのように2三に配置するのがポイントです。初手▲2三銀打→△3三玉→▲3四銀成と上部脱出を防ぎながら成駒を作ります。△3二玉→▲4四桂打→△2二玉。待望の▲2三成銀→△1一玉→▲1二成銀で詰みとなります。

解答 ▲2三銀打→△3三玉→▲3四銀成→△3二玉→▲4四桂打→△2二玉
→▲2三成銀→△1一玉→▲1二成銀 までの9手詰

第5問



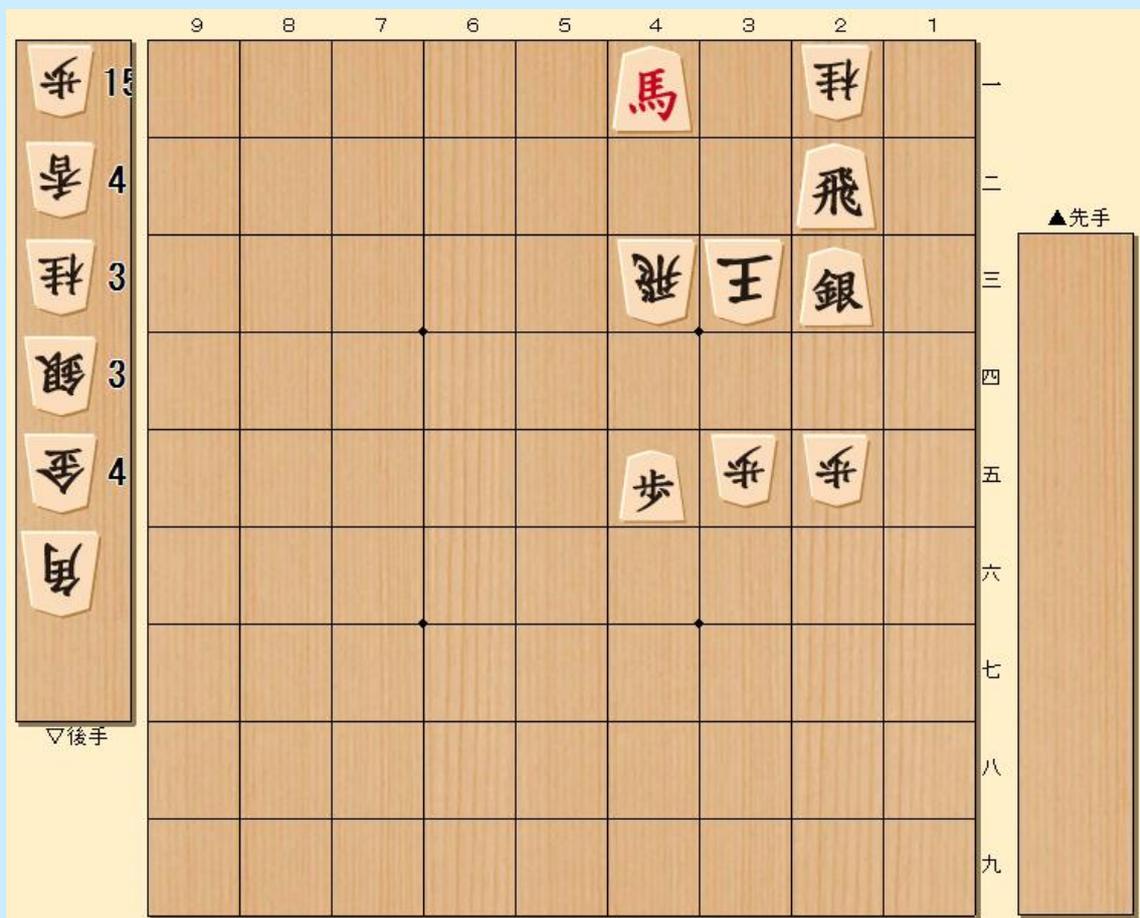
第5問の解説



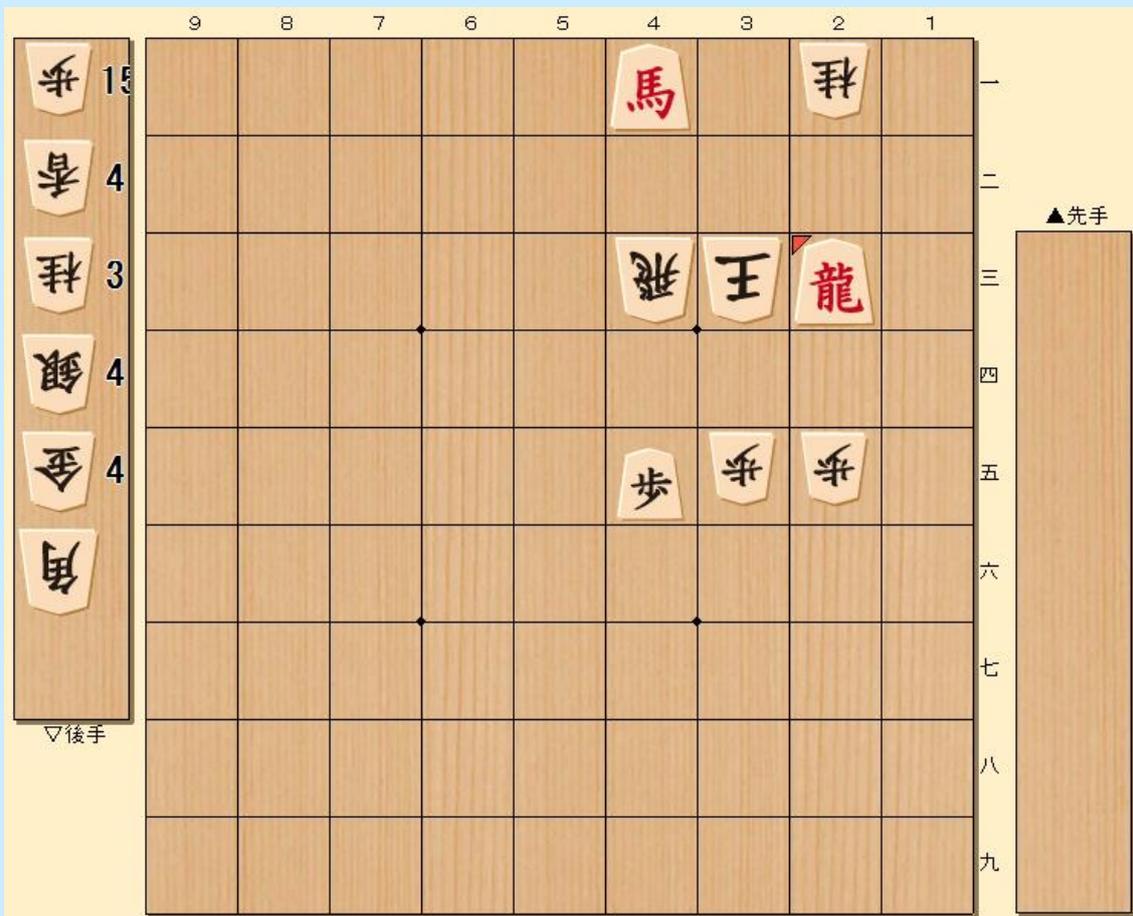
3一の龍がよく守りに利いていて、そのままでは詰みません。初手▲2三金打→△3一玉→▲3二金と龍を取ります。△同玉→▲2二飛打と間接的に4二の歩を守りながら王手するのが好手。△同玉→▲2三馬→△3一玉→▲4一歩成と歩が成って詰み上がりとなります。

解答 ▲2三金打→△3一玉→▲3二金→△同玉→▲2二飛打→△同玉→▲2三馬
→△3一玉→▲4一歩成 までの9手詰

第6問



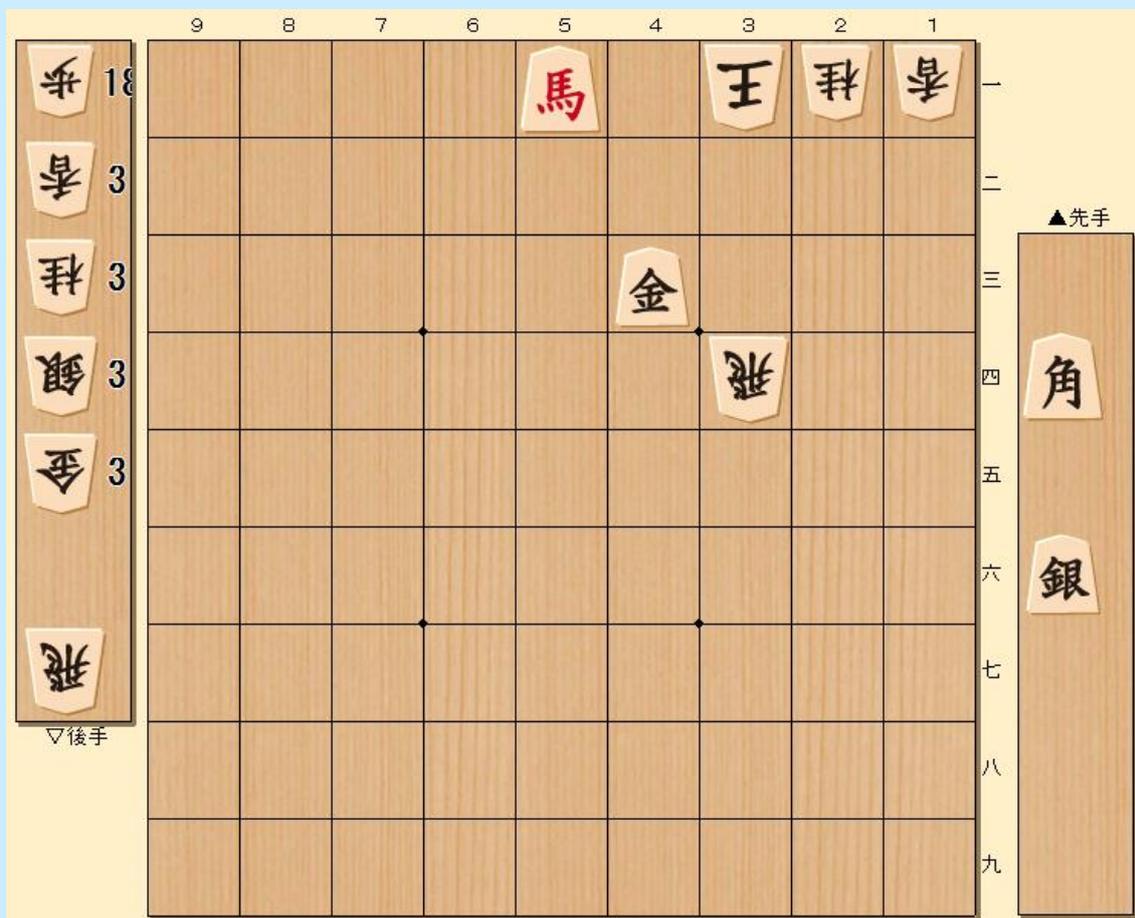
第6問の解説



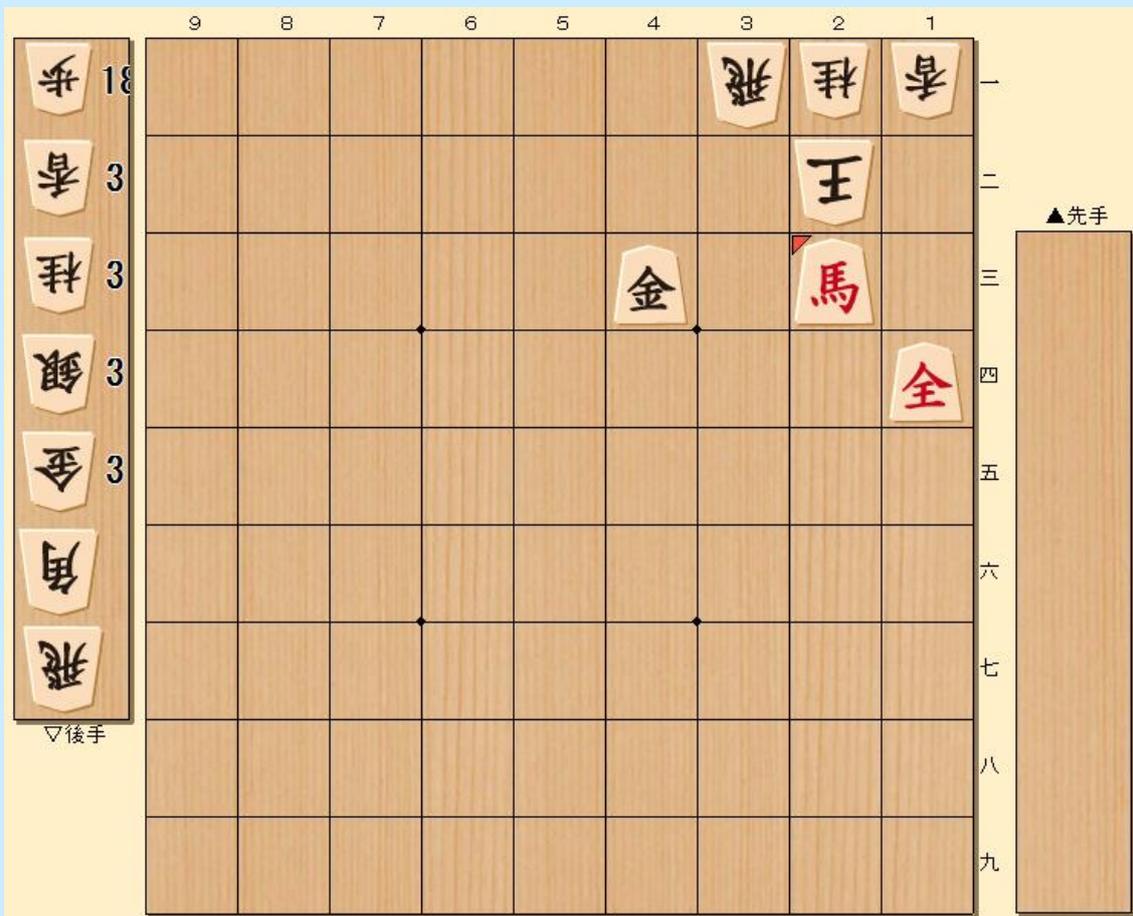
2三の銀がいなければ一手詰ですが、慌てて銀を捨てる手は失敗します。初手▲3二飛車成が正解。△2四玉と逃げる一手に、上部脱出阻止と玉を馬のラインに入れる▲1四銀成が好手です。△同玉→▲1二龍と両王手。△2四玉→▲1四龍→△3三玉と玉が一周して、最後に▲2三龍で詰め上がりです。

解答 ▲3二飛車成→△2四玉→▲1四銀成→△同玉→▲1二龍→△2四玉→▲1四龍→△3三玉→▲2三龍 までの9手詰

第7問



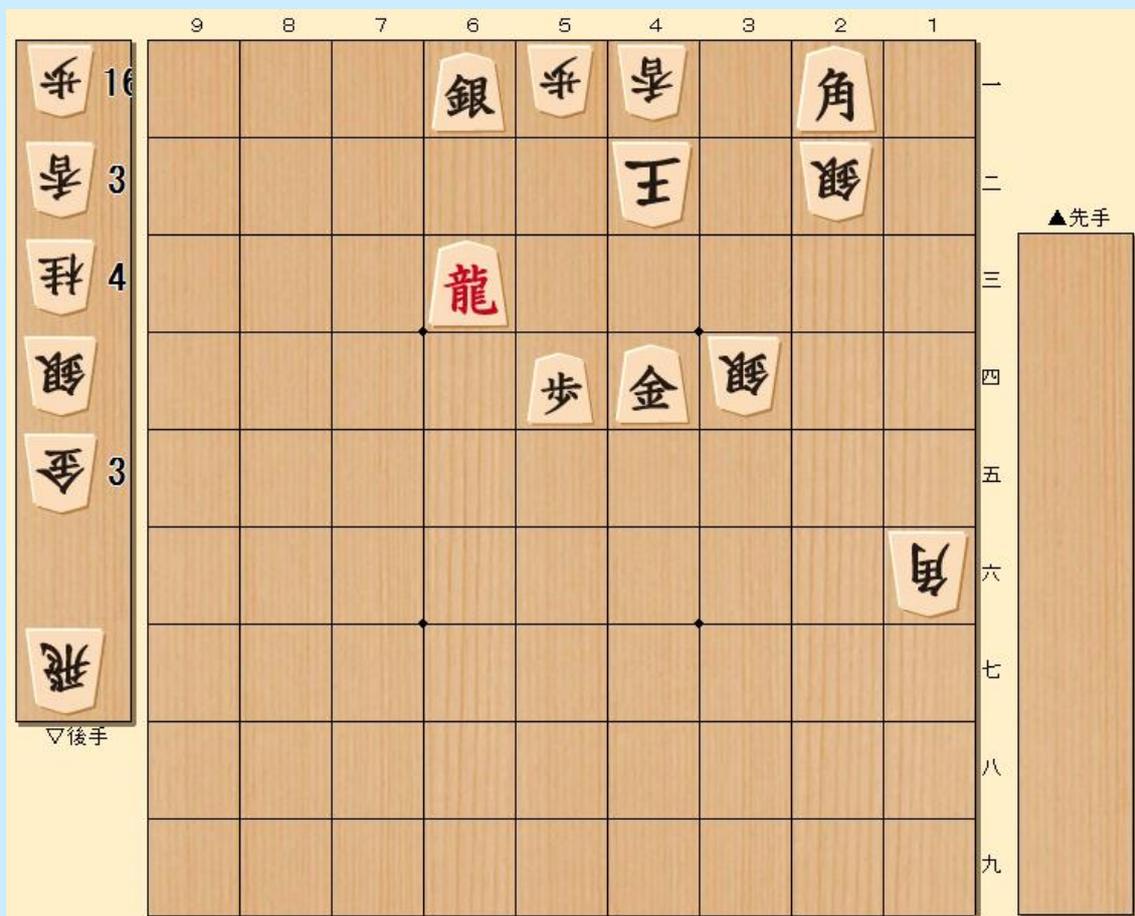
第7問の解説



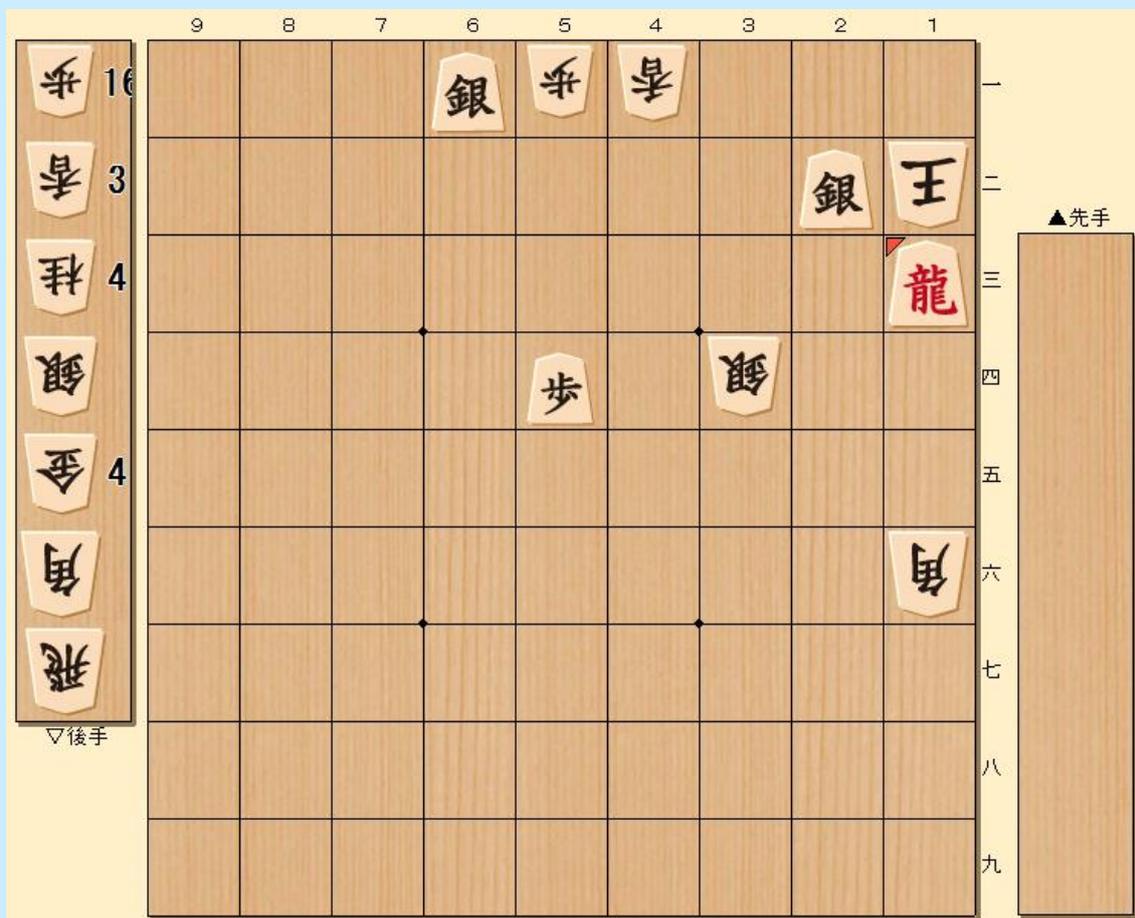
5一からの馬のラインでは詰みません。初手▲4一馬と一つ寄ってラインを近づけます。
 △2二玉→▲3一角と打つのが上手い手。△同飛と取らせることで守りの飛車を無力化で
 きます。その後は、解答の流れになります。

解答 ▲4一馬→△2二玉→▲3一角打→△同飛→▲2三銀打→△1三玉→▲1四銀成
 →△2二玉→▲2三馬 までの9手詰
 ▲4一馬→△2二玉→▲3一角打→△同飛→▲2三銀打→△1三玉→▲1四銀成
 →△2二玉→▲2三成銀 までの9手詰

第8問



第8問の解説

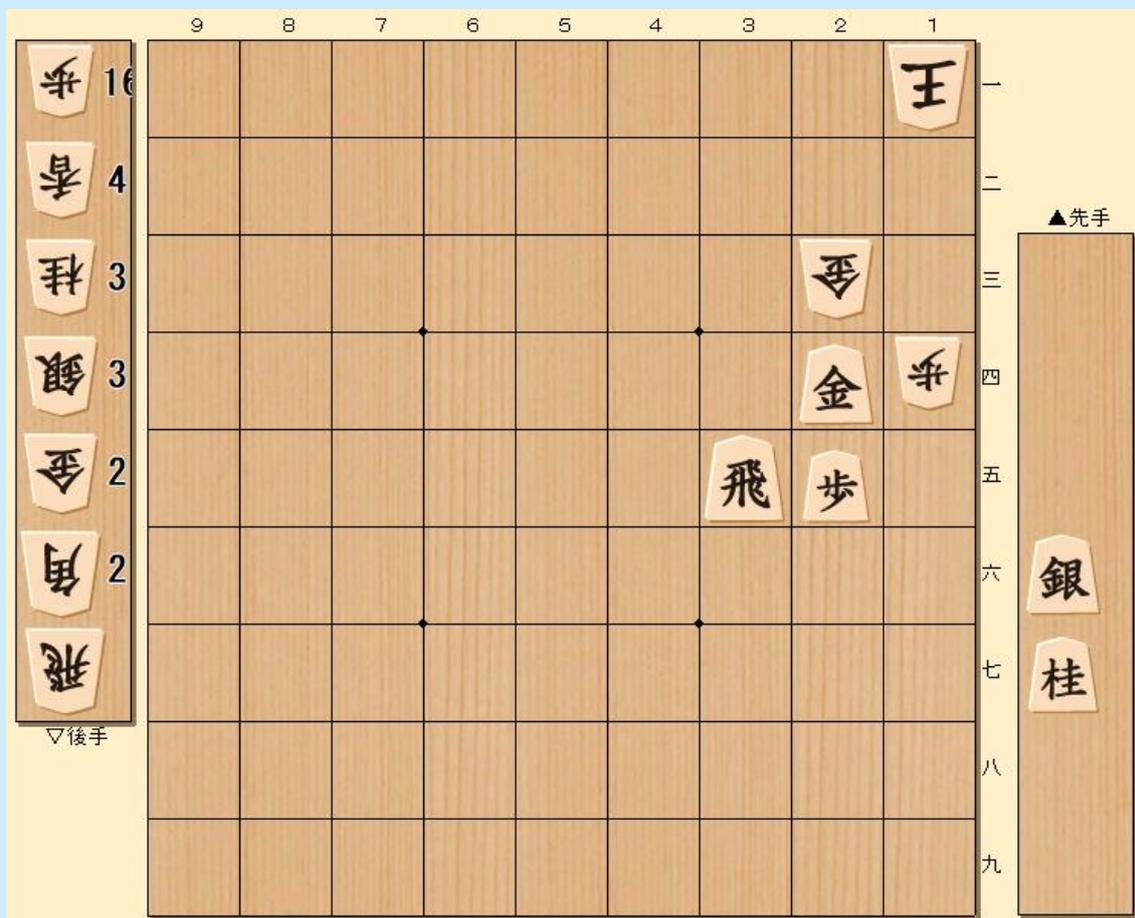


龍が大活躍する問題です。初手▲3三金→△同銀とタダで金を捨てたように見えますが、▲5三龍→△3一玉→▲3三龍として金銀交換します。△2一玉→▲2二銀打→△1二玉→▲1三龍で龍が横に3回移動しての詰み上がりです。

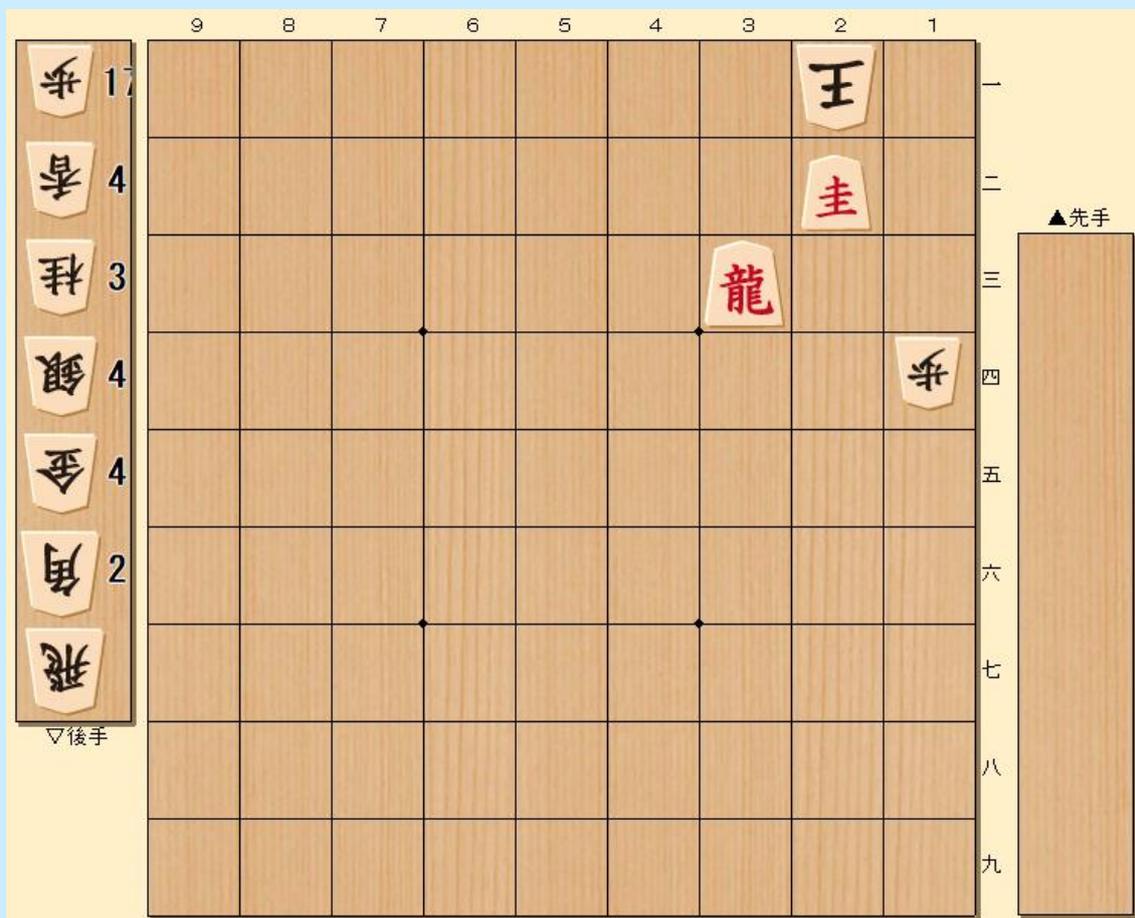
解答 ▲3三金→△同銀→▲5三龍→△3一玉→▲3三龍→△2一玉→▲2二銀打
→△1二玉→▲1三龍 までの9手詰

◆ スペシャル編 ◆

スペシャル問題



スペシャル問題の解説



初手▲1二銀打と銀を捨てて、主力のある方に玉を誘い出します。△同玉→▲2三金と王手で金を拾い、△同玉。次に、▲2四歩と軽く指し、玉をかわす手はいずれも早詰め。正しい応手は△2四同玉。▲3四金打～▲2五桂打として、玉を下段に落とします。そして、△2二玉もしくは△1一玉に、飛車先で邪魔になっている金を▲2三金と捨て、あとは、桂馬と飛車のコンビネーションで、解説の流れになります。

解答 ▲1二銀打→△同玉→▲2三金→△同玉→▲2四歩→△同玉→▲3四金打
→△1三玉→▲2五桂打→△2二玉→▲2三金→△同玉→▲3三飛成→△1二玉
→▲1三桂成→△2一玉→▲2二成桂 までの17手詰

▲1二銀打→△同玉→▲2三金→△同玉→▲2四歩→△同玉→▲3四金打
→△1三玉→▲2五桂打→△1二玉→▲2三金→△同玉→▲3三飛成→△1二玉
→▲1三桂成→△1一玉→▲2二成桂 までの17手詰

最後までご覧いただきありがとうございました！！

秀明大学将棋部創部 10 周年

本当におめでとうございます！！

将棋部の歴史は不滅なり！！

秀明大学将棋部創部 10 周年記念感謝祭企画

詰将棋コーナー

～将棋部からの挑戦状～

完

令和 3 年 11 月 13 日(土)、14 日(日)

制作：秀明大学将棋部創部 10 周年記念感謝祭実行委員会